



生涯学習のマスコット“マナビィ”
デザイン：石ノ森章太郎

名取市生涯学習振興計画 後期計画

(令和7年度～令和12年度)

基本理念

愛されるふるさと なとり
～学び合いで 共に創る 未来へつなぐ～

令和7年4月
名取市



は じ め に ～Introduction～

「愛されるふるさと なとり ～学び合いで 共に創る 未来へつなぐ～」

この理念のもと、名取市では令和2年3月に生涯学習振興計画を策定し、5つの基本目標に基づく具体的な施策を展開してまいりました。その中で、新型コロナウイルス感染症の拡大という予期せぬ事態に直面し、感染防止対策の徹底により、学習施設の臨時休館や利用制限を行わざるを得ない状況となり、これまで当たり前とされてきた対面での学習機会が大きく制限されることとなりました。

このような状況下において、SNS を活用したオンラインによる情報発信や、感染対策を徹底した少人数制の講座の実施など、創意工夫を重ねてまいりました。この経験を通じて、私たちは従来の枠組みにとらわれない柔軟な学習環境の重要性を再認識し、多くの学びと成長を積み重ねてきました。

そして今、私たちは新しい時代の変化に対応していかなければなりません。社会情勢が大きく変化する中、多様化する課題に適切に対応するため、このたび令和7年度からの後期計画を策定いたしました。本計画は、これまでの成果と直面した課題を踏まえつつ、未来を見据えた堅実な取り組みを盛り込んでおります。

昨年8月に市民2,000名を対象に実施した「生涯学習市民意識調査」では、前回の平成30年に実施した調査結果を下回る厳しい評価をいただきました。この結果は、コロナ禍の影響を反映しているものの、同時に私たちに大きな課題を突きつけ、生涯学習施策のさらなる改善と充実の必要性を明確に示しています。

私たちはこの現状を真摯に受け止め、市民皆様のニーズにより一層寄り添った施策の展開を目指します。また、市民の皆様との対話を一層深め、皆様の声を直接施策に反映させる仕組みづくりにも注力いたします。生涯学習は、市民の皆様一人ひとりが主役となって初めて実現するものです。今回の調査結果と過去5年間の経験を踏まえ、名取市の生涯学習の在り方を見直し、より良い形へと再構築する機会として、皆様と共に歩んでまいります。

これらの課題に直面したからこそ、私たちはより一層の努力と創意工夫を重ね、市民の皆様にとって真に価値ある生涯学習の環境を築き上げる決意を新たにしております。この後期計画を通じて、名取市の生涯学習がさらなる発展を遂げ、市民の皆様一人ひとりの豊かな人生の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

名取市生涯学習推進本部長
名取市長 山田 司郎



目 次

～ Contents ～



第1章 後期計画の策定にあたって.....	1
1 計画策定の背景・趣旨	1
2 計画の位置づけ	1
3 生涯学習振興の基本構想.....	2
(1) 基本理念.....	2
(2) 基本方針	2
第2章 成果指標の達成状況	3
第3章 生涯学習市民意識調査の結果概要	4
(1) 生涯学習の意向について	4
(2) 生涯学習を行う環境について	6
(3) 地域活動について	7
第4章 施策の体系	10
第5章 後期計画における施策展開.....	13
第6章 成果指標の再設定	32
第7章 資料編	33
1 「名取市生涯学習市民意識調査」調査結果からみえる課題	33
(1) 生涯学習の意向について	33
(2) 生涯学習を行う環境について	37
(3) 地域活動について	40
2 「名取市生涯学習市民意識調査」調査票.....	43
3 名取市生涯学習推進本部設置要綱.....	59
4 主な生涯学習事業.....	61
5 市内生涯学習施設の紹介	62

第1章 後期計画の策定にあたって

1 計画策定の背景・趣旨

本市では、令和2年3月に『生涯学習振興計画』を策定し、具体的な施策の展開を目指した矢先、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、学習施設の臨時休館や利用制限などにより、従来の対面型の学習活動に多大な影響を与えました。

ソーシャルディスタンスの励行や、マスク着用、換気の徹底など、様々な生涯学習活動に影響を及ぼし、市民の学習機会も停滞してしまいました。感染防止対策の徹底により、従来の対面学習スタイルの抜本的な見直しを迫られました。

こうした逆境の中で、SNSを活用したオンラインによる情報発信やソーシャルディスタンスを確保した少人数による講座の実施など、創意工夫を重ねて学習活動に努めてきたところです。

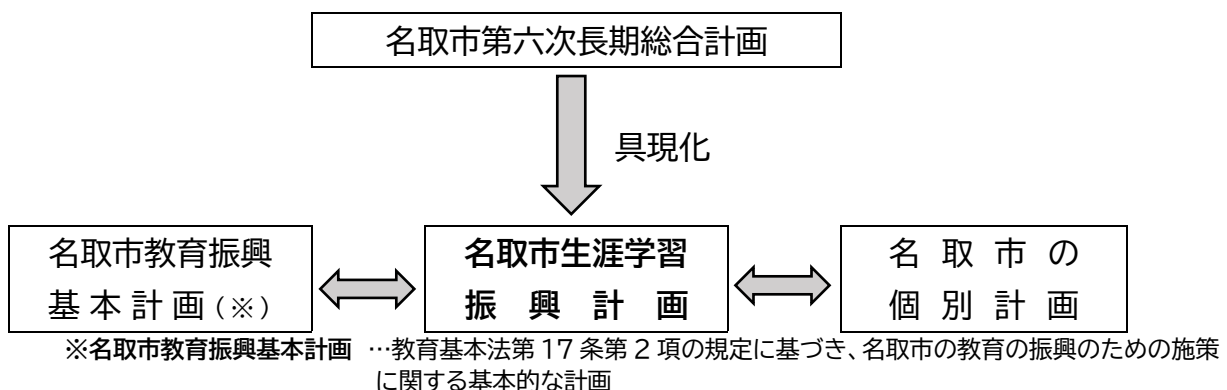
この度、急速に変化する社会情勢と直面している課題に対応するため、令和7年度からの後期計画を策定する運びとなりました。本計画は、これまでの成果と課題を踏まえつつ、未来を見据えた堅実な取り組みを盛り込むこととしました。

また、令和6年8月に実施した『生涯学習市民意識調査』では、前回の平成30年9月に実施した調査結果を下回る厳しい評価となり、課題とともに生涯学習施策のさらなる改善と充実の必要性が示されています。

後期計画では、こうした課題を踏まえつつ、市民の皆様のニーズにより一層寄り添った施策の展開を目指します。

2 計画の位置づけ

「名取市生涯学習振興計画」は、名取市のまちづくりに関する最上位の計画である「名取市第六次長期総合計画」や「名取市教育振興基本計画」を生涯学習の視点から実現していくための個別計画として位置づけるとともに、文化、健康、福祉など他の関連する行政計画と整合を図っています。



【計画の期間】

後期計画の期間は、これまでの最終年度を変更することなく、令和7年度から令和12年度までの6年間とします。

3 生涯学習振興の基本構想

(1) 基本理念

名取市第六次長期総合計画において、まちづくりの基本理念を

- ①多様な主体による市民本位のまちづくりを進めます
- ②地域の特性と魅力を最大限引き出します
- ③時代の変化に対応した持続的な発展を目指します と示し、名取市の将来像を

愛されるふるさと なとり ～共に創る 未来へつなぐ～ と設定しています。

この名取市の将来像を生涯学習の視点から実現していくという観点から、本計画の基本理念も“学び”を加えて同様に

愛されるふるさと なとり ～学び合いで 共に創る 未来へつなぐ～

と設定しています。

「学び」は、新しい自己の可能性を発見し、生きがいを生み出すとともに、仲間との学びが社会を創る学びとなるなど、人づくりやまちづくりに資するものです。

私たちの暮らす名取市は、肥沃な土地、気候、風土に恵まれ、史跡雷神山古墳や名取熊野三社に象徴されるような古来からの豊かな歴史と自然があります。また、市内には JR 東北本線、仙台空港アクセス鉄道、国道4号、仙台東部道路など利便性の高い交通網が充実し、人口の集積、企業立地が進んでいます。

私たちは、これらの土壌を生かした「学び」を通して充実した人生を送ることができ、学びの成果を行政と市民が協力して地域づくりやまちづくりへとつなげ、未来へとつないでいくなど、魅力ある生涯学習のまち「なとり」を目指します。

(2) 基本方針

子どもから高齢者まで市民一人ひとりが、自ら学ぶことや学びで得た成果を地域で生かし、地域の人々の生涯学習への関心を高めます。

さらに学び合うことで、学びに参加する人を増やし、その人もまた学んだ成果を生かしていくという流れが学びの連鎖となり、地域での人と人とのつながりが広がって、ふるさとなとりへの愛着を深めるものとなるよう

学びから学び合い… そして ふるさと愛

を基本方針としています。

第2章 成果指標の達成状況

1 計画の達成状況

当初計画の目標に対する実績は以下となっています。

基本目標	指標項目	実績 (平成30年度)	実績 (令和5年度)	目標 (令和6年度)	実績 (令和6年度)
1 学びにつながるきっかけづくり	生涯学習を行っている市民の割合	64.5%	—	67.0%	59.6%
2 多彩な学びの場づくり	市の機関による学習機会提供数(延べ)	1,462 回	—	1,600 回	1,819 回
3 学びを生かす仕組みづくり	マナビィ市民講師の派遣件数	51 件	50 件	70 件	52 件
4 学びを支える環境づくり	公民館利用者数	209,353 人	226,607人	230,000 人	239,932 人
5 学びでつながるまちづくり	「地域学校協働活動」に参加したい市民の割合	38.5%	—	45.0%	21.0%

【基本目標1】

目標 67.0%に対し実績 59.6%(達成率 89.0%)となりました。コロナ禍の影響により、特に「健康・スポーツ」「趣味・教養」分野での学習活動が減少し、平成 30 年度から 4.9 ポイント低下しています。今後は対面とオンラインを組み合わせた柔軟な学習形態の提供により、参加率の回復と向上が期待されます。

【基本目標2】

目標 1,600 回に対し実績 1,819 回(達成率 113.7%)と目標を大きく上回りました。平成 30 年度実績から約 24.4%増加しており、市民ニーズに応じた多様なプログラム展開や、土日・夜間などの学習機会の拡充により、多彩な学びの場が着実に広がっていることが伺えます。

【基本目標3】

目標 70 件に対し実績 52 件(達成率 74.3%)となりました。平成 30 年度からわずかな増加にとどまりました。市民講師の多様化や活動の魅力を伝える効果的な広報戦略の強化により、地域の学びの循環を促進することが課題です。

【基本目標4】

目標 230,000 人に対し実績 239,932 人(達成率 104.3%)と目標を達成。平成 30 年度から 14.6%増加しており、利用者目線に立った施設環境の改善や魅力的なプログラム提供が功を奏しています。

【基本目標5】

目標 45.0%に対し実績 21.0%(達成率 46.7%)と課題が残る結果となりました。平成 30 年度から 17.5 ポイント減少しており、「地域学校協働活動」の認知度が低い状況であり、活動の意義や成果を分かりやすく伝え、参加のハードルを下げる工夫により、地域と学校の連携強化が求められます。

第3章 生涯学習市民意識調査の結果概要

計画策定から4年を経過した令和6年度を目途に、生涯学習市民意識調査を実施し、市民ニーズ及び成果指標の達成状況を把握し、中間評価を行うこととしていました。

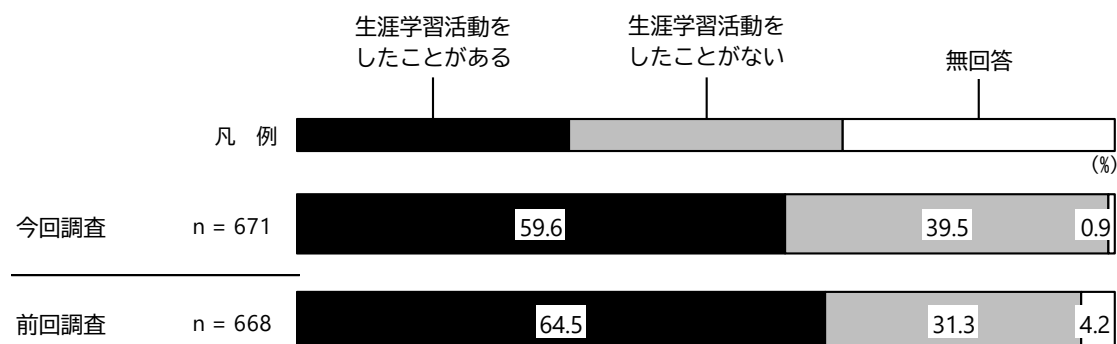
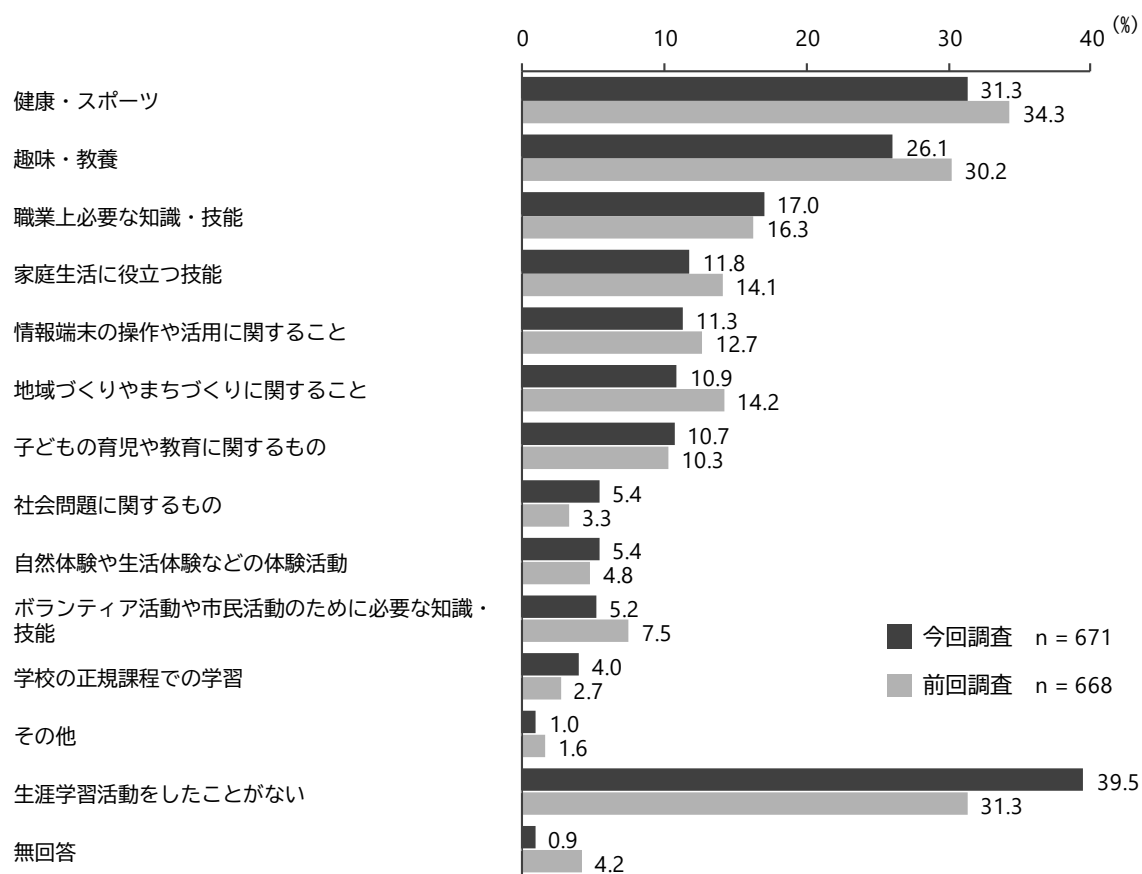
この度、平成30年度に実施した市民意識調査から市民の意識がどのように変化したかを把握するため、令和6年8月9日～25日にかけて調査を実施しました。

18歳以上の市民2,000名から無作為に抽出し、郵送配布・回収によるアンケート調査を実施したところ、主に以下のような結果となり、課題が伺えました。(詳細は資料編参照)

(1)生涯学習の意向について

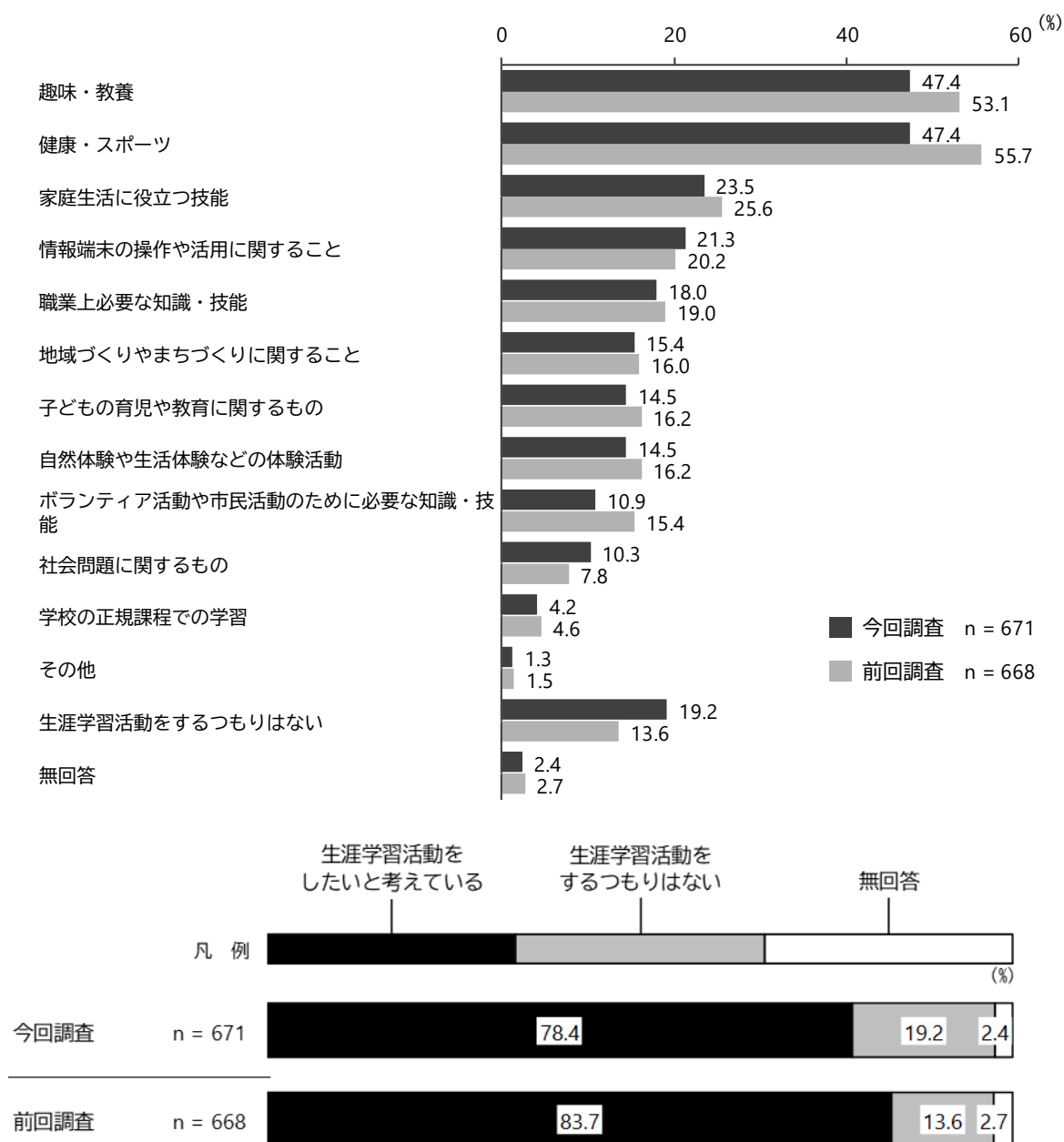
直近1年間ににおいて、何らかの生涯学習を実施している「生涯学習をしたことがある」は59.6%と、前回調査時(64.5%)と比較すると4.9ポイント下降しました。

【この1年間ににおける生涯学習の経験内容】



今後どのような生涯学習をしたいかについて、1つ以上回答した「今後生涯学習をしたいと考えている」は、78.4%と、前回調査時(83.7%)と比較するとやや下降したものの、依然として多くの市民が生涯学習に対して意欲的であることがわかります。

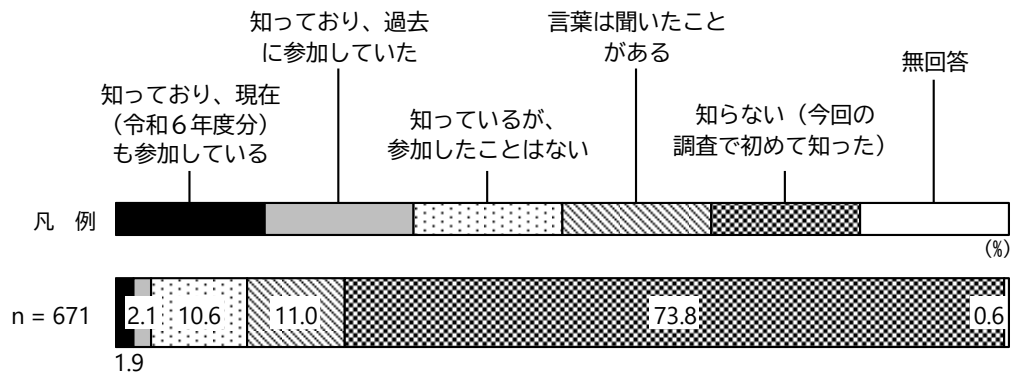
【今後どのような生涯学習をしたいか】



市民の意欲を行動につなげるような講座や事業、学習グループについて、多様な媒体で発信するなど、生涯学習を始める動機づけに関する支援のさらなる充実が課題だと考えられます。

また、市が生涯学習活動の奨励のための活動として令和5年度より行っている「なとりまなびパスポート事業」については、「知らない(今回の調査で初めて知った)」が7割以上となっており、市民の関心を生涯学習活動につなげていくために、この事業がより市民に利用され、親しまれる事業となるよう、一層の啓発が必要だと考えられます。

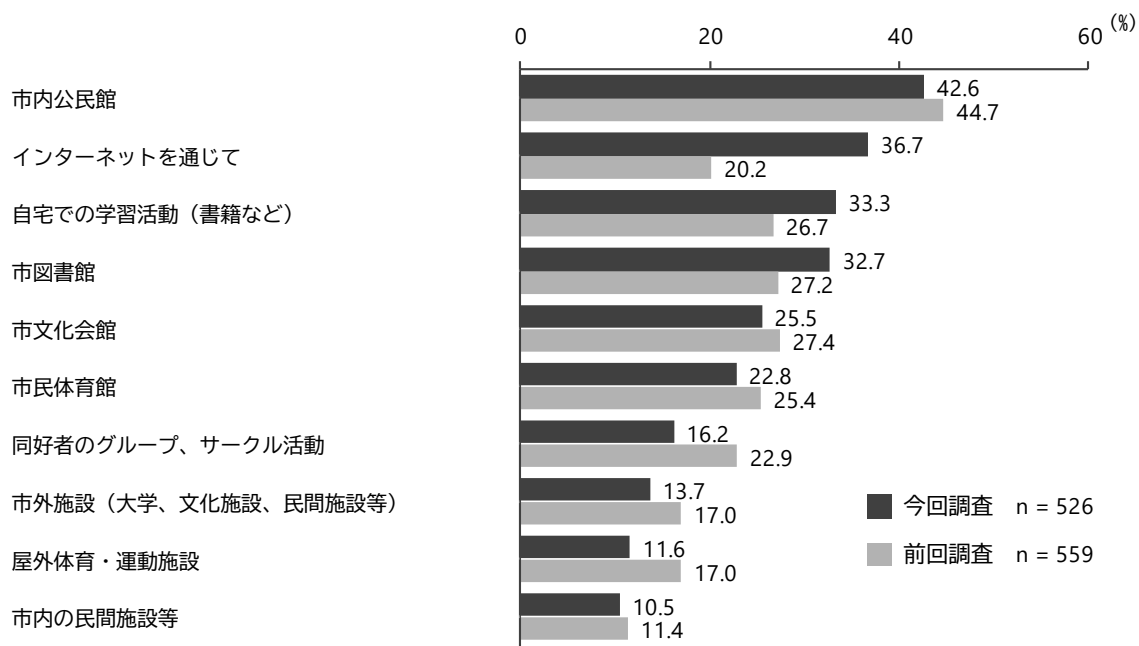
【「なとりまなびパスポート事業」の認知および参加状況】



(2)生涯学習を行う環境について

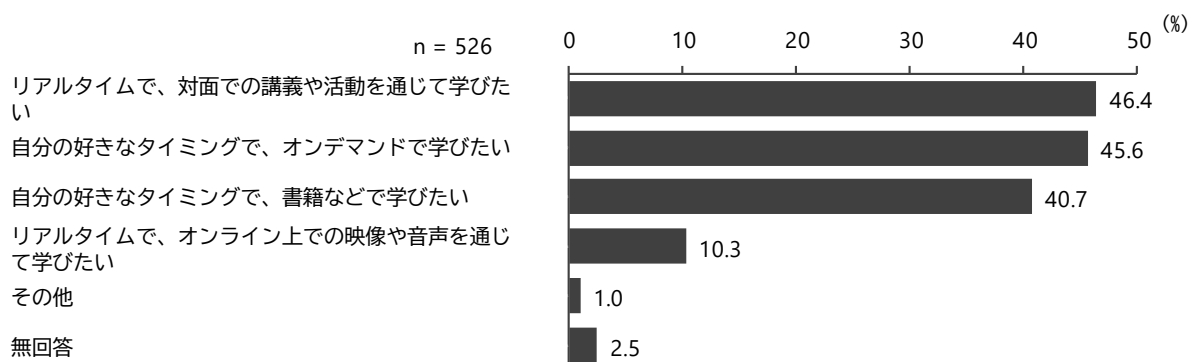
生涯学習をしたい施設や方法については、「市内公民館」が42.6%と最も高く、生涯学習の拠点として公民館は特に期待されていることがわかります。一方、「インターネットを通じて」は前回調査時(20.2%)と比較すると10ポイント以上上昇しており、市民の関心が高まっていることが伺えます。

【生涯学習をしたい施設や方法(上位10項目のみ掲載)】



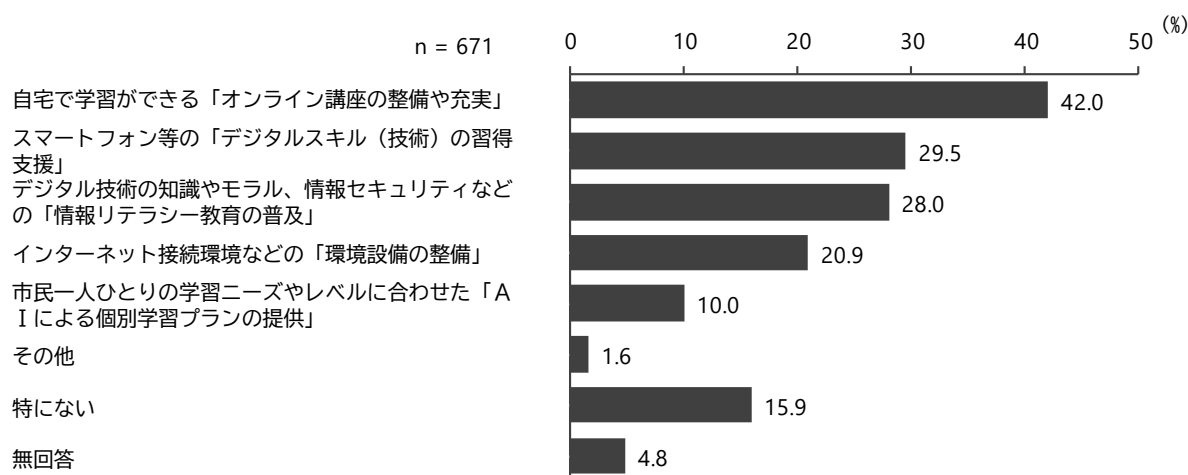
また、生涯学習活動をする場合、希望する学びの形態については、「リアルタイムで、対面での講義や活動を通じて学びたい」が46.4%と最も高くなっているものの、次ぐ「自分の好きなタイミングで、オンデマンドで学びたい」が45.6%となっていることから、公民館等の施設での学びと、インターネットを通じた学びがともに期待されていることがわかります。

【生涯学習活動をする場合、希望する学びの形態】



加えて「今後のデジタル社会において、これからの生涯学習で重要だと思うこと」については、「自宅で学習ができる「オンライン講座の整備や充実」が42.0%と最も高く、次いで「スマートフォン等の「デジタルスキル(技術)の習得の支援」(29.5%)と、オンラインによる学習環境の整備やデジタル機器の利活用に関する市民の関心が高いといえます。

【今後のデジタル社会において、これからの生涯学習で重要だと思うこと】

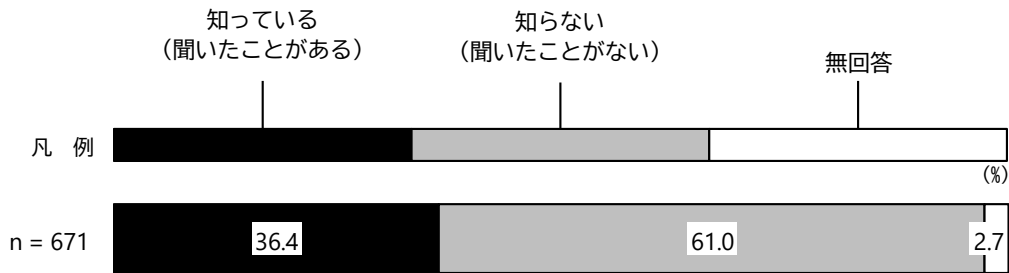


既存の施設の利便性を高め、活動を活発化させていくとともに、多様なデジタル媒体の活用も充実させていくことが求められています。各世代にあった方法で生涯学習情報を提供し、生涯学習の環境を整備していくことが重要だと考えられます。

(3) 地域活動について

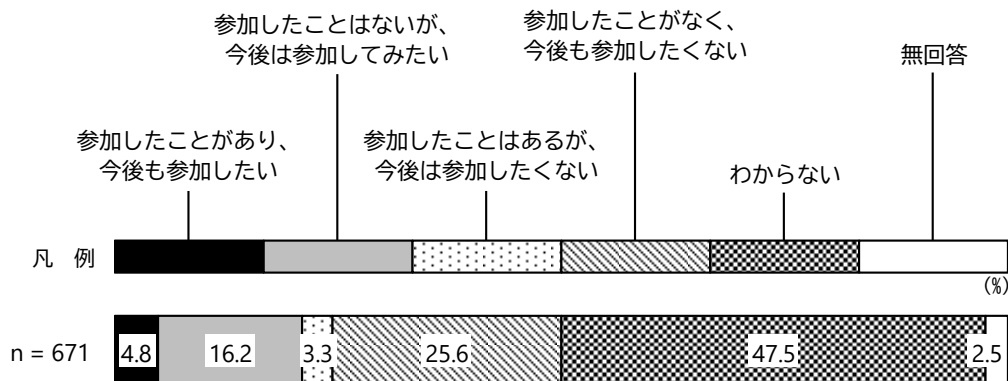
「地域学校協働活動」を知っているかについて、「知っている」は36.4%にとどまっています。一方、「知らない」との回答は、男性が女性に比べて高く、30代以下が40代以上に比べて高くなっており、地域学校協働活動の認知度には性別や年代により差があるといえます。

【「地域学校協働活動」を知っているか】



「地域学校協働活動」への参加意向について、「参加したことがあり、今後も参加したい」及び「参加したことはないが、今後は参加してみたい」との回答の合計値が 21.0%にとどまっています。

【「地域学校協働活動」への参加意向】

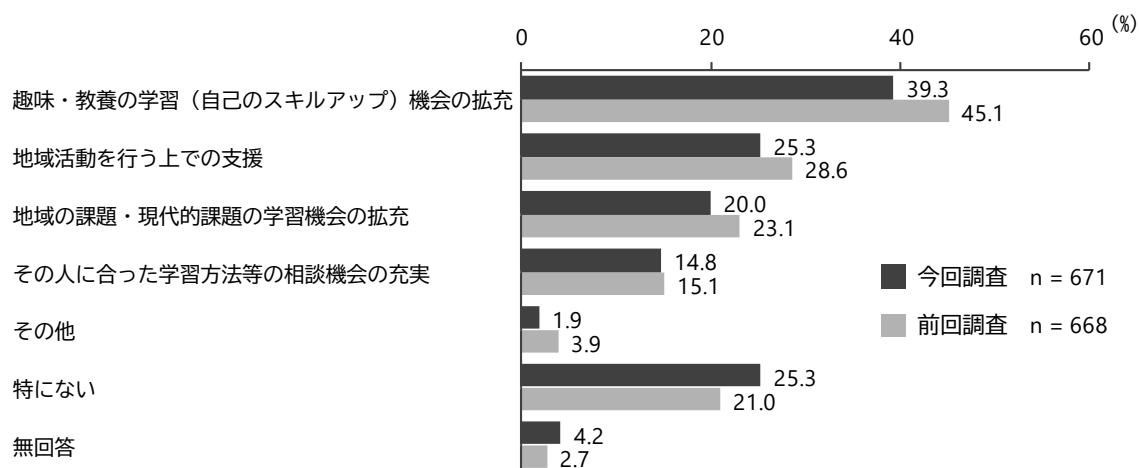


地域学校協働活動への関心を高め、参加を促進するような啓発を行うとともに、市民が生涯学習で身に付けた知識・技能や経験を地域活動で生かせる仕組みを構築することで、市民の生涯学習の推進に加えて、地域の活性化も期待されます。

生涯学習の推進と併せて、市民が地域活動に参加しやすいような体制づくりと啓発活動を充実させていくことが求められています。

生涯学習を盛んにするために公民館で充実すべきだと思うサービスについては、「趣味・教養の学習(自己のスキルアップ)機会の拡充」が 39.3%と最も高く、次いで「地域活動を行う上での支援」(25.3%)となっています。各公民館をはじめとした行政やボランティア団体が主体となり地域活動を推進することを通じて、市民が地域活動や生涯学習に関わる機会を充実させることが課題だと考えられます。

【生涯学習を盛んにするために公民館で充実すべきだと思うサービス】



生涯学習や、地域活動に参加しやすくなるような体制づくりを推進していくために、地域と学校、家庭、活動団体が連携し、推進体制を充実させていくことが求められています。

まなびチャレンジグループ自主企画講座の受講風景



第4章 施策の体系

基本理念	愛されるふるさと なとり ～学び合いで 共に創る 未来へつなぐ～
基本方針	学びから学び合い…そして ふるさと愛

※施策の展開において、重点施策については表題に「☆」を付している。

基本目標	施 策	施 策 の 展 開
1 学びにつながる きっかけづくり	1 学習情報の収集・ 提供の充実 2 学習を始めるきっ かけ支援	(1)学習情報の収集 (2)学習情報の提供 ①各種広報誌等の充実 ②学習グループ・学習指導者に関する情報の提供 ③生涯学習関係施設の周知 (1)生涯学習の普及・啓発 (2)読書活動の推進 (3)生涯学習のきっかけとなる講座の開催 (4)多様な時間帯の講座開催の充実 (5)「なとりまなびパスポート事業」の充実と普及・促進☆
2 多彩な学びの 場づくり	1 現代的・社会的な 課題に応じた学習機 会の充実	(1)環境学習の促進 (2)健康づくりのための予防活動の充実 (3)地域福祉を進める学習の推進 ①一人ひとりの人権を尊重する意識の向上 ②支え合い助け合える地域づくりへの支援 ③地域における福祉学習の推進 (4)国際理解・外国人支援活動の推進 ①国際理解の推進 ②外国人住民への支援 (5)地域の安全・安心を進める活動の推進 ①東日本大震災の伝承 ②災害時に対応できる地域づくりのための学 習活動の推進 ③安全・安心な地域づくりのための学習活動の推進 (6)情報化に対応した学習の推進☆ ①情報化に対応する能力向上の学習機会の提供 ②情報セキュリティ学習機会の提供 ③情報化に対応するルールやマナー学習機会の提供

	2 市民の文化芸術に関する学びの充実 3 スポーツ活動機会の充実 4 文化財の保存・活用機会の充実 5 子育て世代への学習支援	(1)文化芸術に触れる機会の充実 (2)文化芸術活動への支援 ①市民の文化芸術活動への支援 ②文化芸術活動団体等への支援 (3)文化会館の活用と充実 (1)市民総参加のスポーツ活動の推進 ①スポーツ教室等の学習機会提供の充実 ②ニュースポーツの普及 (2)スポーツ団体・クラブの育成 ①名取市スポーツ協会の育成・支援 ②総合型地域スポーツクラブの育成・支援 ③スポーツ団体との連携の促進 (1)文化財の保護と保存の充実 ①指定文化財の適切な管理 ②歴史資料の調査・研究 ③埋蔵文化財の調査・保存 ④民俗芸能等への支援 (2)文化財の普及と活用の促進 ①文化財にふれる機会の充実 ②ボランティアガイドの育成 (3)新たな市史の編さん (1)家庭の教育力の向上 (2)子育て支援の充実
3 学びを生かす仕組みづくり	1 学びの成果を生かす機会の拡充 2 地域で活動する人のスキルアップ支援	(1)学習成果発表の機会と場の充実 (2)マナビィ講師登録の啓発と活用促進 (1)各種リーダー・サポーター等のスキルアップ支援☆ (2)各種サポーター等の組織化に向けた支援
4 学びを支える環境づくり	1 生涯学習関連施設の計画的な整備 2 生涯学習拠点としての公民館の充実	(1)老朽化・狭隘化している公民館の計画的な整備 (2)社会教育施設の適切な維持管理 (1)市民活動育成のための職員の資質向上 (2)学習相談機能の向上 (3)公民館と市民活動支援センターの連携

	3 高等教育機関等・関係機関との連携による学習機会の創出 4 共生社会実現のための環境整備 5 生涯学習活動団体への支援 6 名取らしい学習資源の発掘と活用	(1)高等教育機関等の機能を生かした学習機会の提供 (2)市内に所在する関係機関や企業等の機能を生かした学習機会の提供☆ (1)多様性を理解するための学習機会の提供 (2)すべての人に包摂的な学習機会の提供 (1)社会教育関係団体への支援 (2)団体・サークル等の情報交換・交流支援 (1)新たな学習資源の発掘と活用 (2)郷土研究・地域研究の奨励・支援 (3)マナビィ出前講座の充実
5 学びでつながるまちづくり	1 学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実 2 市民と行政の協働の推進 3 地域学校協働活動の推進	(1)様々な人や機関・団体をつなぐ関係職員の資質向上 (2)交流による新たなつながりづくり (1)市民活動団体と行政の協働の充実 (2)子ども達によるまちづくり活動への支援 (1)地域学校協働本部への支援 (2)地域学校協働活動の啓発 (3)地域学校協働活動コーディネート機能の充実☆
6 デジタル社会に対応した学びの推進	1 学びのデジタル化推進 2 デジタル情報発信の充実 3 デジタル活用能力の向上	(1)オンデマンド型コンテンツの配信 (2)配信に適したコンテンツの検討 (1)SNS やスマートフォンアプリを活用した情報提供 (1)高齢者向け ICT 活用講座の実施 (2)多様なデジタル活用体験の促進

第5章 後期計画における施策展開

基本目標1 学びにつながるきっかけづくり

1 学習情報の収集・提供の充実

(1) 学習情報の収集

市内には、大学や高等専門学校、高等学校、医療機関、福祉関係機関、市民活動団体や様々な民間企業等が存在します。

市関係の情報だけではなく、主な学習機会提供機関とネットワークを構築し、市内で行われる学習機会の情報を一元化し、学習情報の収集に努めます。

(2) 学習情報の提供

① 各種広報誌等の充実

広報なとり、市ホームページ、公民館だよりなどの充実に努め、一元化した学習機会の情報を提供します。

また、市民活動の拠点である「市民活動支援センター」でも学習の機会や活動情報などの提供に努めます。

② 学習グループ・学習指導者に関する情報の提供

生涯学習活動を行っているグループやサークルに市民が気軽に参加できるよう、生涯学習活動を行っているグループやサークルの情報を提供します。

③ 生涯学習関係施設の周知

・社会体育施設や学校施設開放の周知

健康づくりやスポーツ活動などの学習の場として、無料体育施設や学校施設開放、有料体育施設などの利用方法を含めた情報提供の充実に努めます。

・図書館・公民館等の学習施設の周知

市内には、図書館、公民館等の社会教育施設や文化会館、市民活動支援センター、老人憩の家等の生涯学習関連施設が多くあります。このような学習できる施設の利用方法も含め施設の周知に努めます。

～「生涯学習市民意識調査」を受けて～

「市民意識調査」では、情報の取得手段として従来の広報誌や公民館だよりなどの紙媒体に加え、SNS やアプリへのニーズが各 20%と高まっています。この結果を踏まえ、施設情報も含めた学習情報を SNS や「ナトぽたアプリ」を活用して発信するとともに、市内の学習施設や活動の場を一体的に把握できる仕組みづくりが必要となっています。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
情報の見える化	情報へのアクセス性を高めるため、ホームページ内に施設概要や利用案内を一元的に閲覧できるページの作成や施設の場所などが視覚的に把握できるマップ作成などを検討します。市民が自分に合った学びの場を容易に見つけられる環境づくりを推進します。	生涯学習課

2 学習を始めるきっかけ支援

(1)生涯学習の普及・啓発

学習機会情報の提供だけではなく、学習がどんな内容で行われたか、どんな成果があったのかなどの事後の情報についても提供し、生涯学習の普及・啓発に努めます。

(2)読書活動の推進

読書は、人生の転機となったり、心を癒したり、勇気を与えてくれたり、人生の様々な局面で貴重な役割を果たしてくれたりすることもあります。

また、子どもにとっては、言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を高め、知識感性を豊かにするために大事なものです。

図書館を中心に学校や公民館、ボランティア団体と連携しながら市民が読書に親しむ環境づくりに努めます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
読書活動推進計画策定	第三次子ども読書活動推進計画(令和8年～12年度)を策定します。	生涯学習課
すくハピ応援事業	出生時及び3歳6カ月時に絵本を贈呈し、親子で本に親しむ機会を提供するとともに親子の心の触れ合いと子どもの豊かな感性を育む読書活動と子育て家庭を支援します。	こども支援課

(3)生涯学習のきっかけとなる講座の開催

生涯学習を身近なものと感じ、興味・関心を持つことができるよう、初めての人でも気軽に参加できる様々な分野の学習機会を提供します。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
自主企画講座開催	市民自らが企画した講座を運営する「まなびチャレンジグループ自主企画講座」は市民ニーズを捉え、利用しやすいよう柔軟に見直しを図りながら内容の充実を図ります。	生涯学習課
市民大学オンデマンド	専門的で多様な学習ニーズに応える『市民大学講座』を開講し、社会人等の学び直し(リカレント教育)を支援するとともに、オンデマンド配信により時間や場所を選ばない新たな学習機会を提供していきます。	
まなフェスの開催	「なとりまなびフェスティバル」を通じて、多様な主体による様々な学びや体験の場の提供と、学びのきっかけづくりを図ります。	

(4)多様な時間帯の講座開催の充実

市民が学習活動や地域活動を行うことができる時間帯は、年代ごとにまちまちです。そのため、特に若い方や働き盛りの市民に配慮し、夜間や休日など多様な時間帯の講座開催の充実を図ります。

(5)「なとりまなびパスポート事業」の充実と普及・促進☆

市民の主体的な学びを支援・促進する「なとりまなびパスポート事業」を通じて、より多くの市民が生涯学習活動に参加できるきっかけづくりを図ります。学習履歴の記録や称号付与、達成賞品の授与など、魅力ある仕組みを活用し、継続的な学習意欲の向上と学習成果の表彰を行います。

～「生涯学習市民意識調査」を受けて～

「市民意識調査」では、「なとりまなびパスポート事業」の認知度は令和5年度の事業開始から2年目で25.6%となっています。市民からは「毎回楽しみながら参加した。同時にスタンプが溜まるのでやりがいに繋がった」など好評の声が寄せられており、この事業の魅力と機能をより多くの市民に知ってもらうため、認知度向上に向けた積極的な周知活動と参加しやすい仕組みづくりが求められています。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
まなパス事業の拡充	「なとりまなびパスポート事業」の魅力を高めるため、達成基準の見直しや新たな称号の新設、対象事業の拡充等を行います。また、認知度向上に向けて、情報発信の強化やメディア広報活動などを実施し、より多くの市民が参加したくなる魅力的な生涯学習の仕組みづくりに取り組みます。	生涯学習課



“まなびパスポート事業”マイスターへの表彰

基本目標2 多彩な学びの場づくり

1 現代的・社会的な課題に応じた学習機会の充実

複雑・多様化する現代社会の中で、国際化や情報化、地球規模で対策が求められている環境問題、健康問題など、今後地域社会に大きな影響があると予測されている課題に対応していきます。

対応に当たっては、SDGs(※)の理念を踏まえ、「誰一人として取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指し、市民の多様化するニーズに対応できるよう、より幅広い学習活動を推進するように努めます。

※ SDGs… 2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。

(1)環境学習の促進

市民一人ひとりが、「今、地球の環境がどのような状況にあるのか」を知り、考え、実践することが求められています。

特に、私たちの日常生活のあらゆる場面が地球環境に直結しています。エネルギーの消費削減、ごみのリサイクル、動植物の保護など日々の暮らしの中で、環境に配慮する意識を持つために、環境に関する学習を促進します。

(2)健康づくりのための予防活動の充実

「健やかなとり21～一人ひとりが主役健康づくり推進プラン」に含まれる「名取市健康増進計画(第3次)」、「名取市食育計画(第4次)」、「名取市自死対策計画(第2次)」に基づき、市民一人ひとりの生活習慣などの改善や疾病の早期発見・早期治療を促進するため、健康づくりのための予防活動を支援していきます。

また、子どもの頃から基本的な食や生活習慣を身につけ、生涯にわたって健康で豊かな生活ができるよう支援します。

さらに、公民館等と連携し、各種検診(健診)の大切さや生活習慣病の重症化にならないような生活習慣(食・運動など)を身につけられるよう健康講座等を実施します。

(3)地域福祉を進める学習の推進

市民一人ひとりが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、関係する個人・団体がお互いに連携し、地域住民同士の絆を深め、支え合い、助け合えるような地域づくりを支援します。

① 一人ひとりの人権を尊重する意識の向上

地域の支え合いを推進していく上で基本となるのは、「一人ひとりの人権を尊重し、ともに支え合う」という視点です。お互いの人権を尊重し、支え合うことができる地域づくりを推進するための学習機会の充実を図ります。

② 支え合い助け合える地域づくりへの支援

市民一人ひとりが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、地域住民同士が絆を深め、支え合い、助け合えるような地域づくりのための普及啓発を行います。

③ 地域における福祉学習の推進

地域の様々な活動において、福祉をテーマとした学習の機会を増やし、地域住民が集い、話し合う中で、地域の課題に気づき、その課題を解決する場を持つことができる取組みを進めます。

(4)国際理解・外国人支援活動の推進

① 国際理解の推進

国際交流を行う各種団体との連携を進め、国際理解を深めるための体験活動や学習機会の充実を図ります。

② 外国人住民への支援

日常生活上の相談をする機会や、外国人住民が日本語を学習する機会など、外国人住民を支援するための情報提供に努めます。

(5)地域の安全・安心を進める活動の推進

① 東日本大震災の伝承

多くの大切な人命、財産、生業、伝統、コミュニティを一瞬にして奪い去った東日本大震災。この震災の記憶を風化させず、将来起こり得る災害の被害を少しでも小さくする防災意識の醸成に努めます。

特に、「名取市震災復興伝承館」を拠点に、震災の記憶を後世に伝え、災害に備える意識の啓発に努めます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
震災記憶の伝承	「震災復興伝承館」を拠点に、震災の記憶を後世に伝え、災害に備える意識の啓発に努めます。 1)定期的な企画展の実施、新規コンテンツの導入 2)語り部団体との連携による震災伝承活動の推進 語り部団体の後継者の発掘、育成	商工観光課
	東日本大震災における本市の被災状況や復旧・復興、被災者支援などの取り組み内容について、「復旧・復興記録誌」を用い、震災の記憶や経験、教訓を後世に伝承し、今後も起こり得る大災害への対応や危機管理、市民の防災活動に活用します。	政策企画課

② 災害時に対応できる地域づくりのための学習活動の推進

日頃から市民一人ひとりが防災意識を持ち、災害の予防に努め、災害時には適切に対応するとともに、お互いに助け合う意識が大切です。

各地域において、子どもから高齢者まで全世代を対象とした防災学習会や救命講習を含む防災訓練などを実施し、防災意識の向上に努めるとともに、自主防災組織の育成や災害時に対応できる地域づくりのための学習機会の充実を図ります。

特に、災害発生時に危険を予測し対応できる能力を身につけ、大地震が発生した場合を想定した実践的な避難訓練の促進に努めます。

③ 安全・安心な地域づくりのための学習活動の推進

犯罪のない安全で安心な地域づくりのために、日頃から住民同士のつながりを大切にし、地域の連帯感を強め、防犯意識を高めていく取組みの充実を図ります。

また、交通マナーの向上と交通ルールを守ることを徹底するため、小・中・義務教育学校における実践的な自転車教室などの開催や関係機関、団体と連携した交通安全教育を推進し、それぞれの地域に応じた学習機会の充実を図ります。

(6)情報化に対応した学習の推進☆

近年ではインターネットが急速に普及し、パソコンやスマートフォン、タブレット端末など様々な ICT 機器が日常生活で必要不可欠なものとなっています。一方、これら ICT 機器を悪用した個人情報流出などの犯罪が社会的な問題となっており、それらに対応できる情報機器の正しい利用方法等の学習機会の提供に努めます。

① 情報化に対応する能力向上の学習機会の提供

パソコンやスマートフォンなどを活用し、情報を取得したり発信したりする学習機会の提供に努めます。

② 情報セキュリティ学習機会の提供

個人情報の保護や情報セキュリティの確保、インターネットを介した犯罪などに関する知識を身につけるための学習機会の提供に努めます。

③ 情報化に対応するルールやマナー学習機会の提供

スマートフォンなどの ICT 機器を利用するためのルールやマナーの学習機会の提供に努めます。

◆後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル.	事業内容	担当課
デジタルデバйд対策	スマートフォンの活用を学習する機会の提供を図ります。 公民館主催事業等へのスマホ講師・相談員を派遣します。	DX 推進室
e スポーツの促進	デジタル機器への抵抗払拭やフレイル(加齢により心身が衰えていく状態)対策のための e スポーツ体験機器の貸出を行います。	

2 市民の文化芸術に関する学びの充実

(1)文化芸術に触れる機会の充実

市民に国内外の優れた文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、青少年劇場小公演、宮城県巡回小劇場公演など、次代を担う子ども達が文化芸術に身近に触れる機会の充実を図ります。

(2)文化芸術活動への支援

① 市民の文化芸術活動への支援

市民または子ども達が参加(参画)する市民参画型文化芸術活動を支援します。

② 文化芸術活動団体等への支援

名取市文化協会など地域に根ざした文化芸術活動団体等の育成・支援を図り、市民主体の文化芸術活動の一層の活性化と文化芸術の裾野が広がる取組みを促進します。

(3)文化会館の活用と充実

文化芸術振興の拠点施設として、また市民の憩いの場として、だれもが安心して文化芸術活動に取り組めるよう、安全に留意した施設の管理運営に努めます。

また、市民が本物に触れることができる多様な文化芸術事業の展開を促進します。

3 スポーツ活動機会の充実

(1)市民総参加のスポーツ活動の推進

① スポーツ教室等の学習機会提供の充実

すべての市民がスポーツに親しめるよう、市民総合スポーツ祭や各種スポーツ教室の開催、名取市スポーツ協会等の自主事業の推進を図ります。

② ニュースポーツの普及

幅広い年齢層の市民が、気軽に参加できるニュースポーツの普及に努めます。

(2)スポーツ団体・クラブの育成

① 名取市スポーツ協会の育成・支援

スポーツ振興の中心的役割を担う名取市スポーツ協会の育成・支援に努めます。

② 総合型地域スポーツクラブ(※)の育成・支援

地域住民だれもが参加できる種目・多世代のスポーツクラブとして、総合型地域スポーツクラブの育成・支援に努めます。

③ スポーツ団体との連携の促進

様々なスポーツ団体・クラブと民間スポーツクラブとの連携を促進し、市民の多様化するニーズに即した事業展開を促します。

※ 総合型地域スポーツクラブ… 総合型地域スポーツクラブは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

4 文化財の保存・活用機会の充実

名取市歴史民俗資料館などを拠点に、永く大切に守り伝えられてきた歴史文化を確実に未来へ伝えるための取組みを推進し、文化財の保護意識や郷土への愛着・関心の向上を図ります。

(1)文化財の保護と保存の充実

① 指定文化財の適切な管理

史跡・建造物・天然記念物など、指定文化財の適切な維持・管理を行い、次世代への継承に努めます。

② 歴史資料の調査・研究

歴史資料の調査・研究や情報蓄積を進め、必要な保護措置を図ります。

③ 埋蔵文化財の調査・保存

開発にかかわる埋蔵文化財について、事業との円滑な調整を図り、調査・保存に努めます。

④ 民俗芸能等への支援

民俗芸能や伝統行事などについて、後継者の育成をはじめ伝承活動が継続して行われるよう支援に努めます。

(2)文化財の普及と活用の促進

① 文化財にふれる機会の充実

文化財ガイドや歴史講座、収蔵資料の公開、体験学習などにより、郷土の歴史や文化財にふれる機会の充実を、地域や他の施設と連携を図りながら進めます。

② ボランティアガイドの育成

地域との連携により、名取の歴史や文化財を案内するボランティアガイドの育成を図ります。

(3)新たな市史の編さん

市の歴史や文化を総合的に取りまとめた市史を編さんすると共に、その過程で収集した歴史資料の保存や、研究成果の活用に取り組みます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
市史の編さん	名取の歴史と文化を次世代へ継承するため、原始から現代に至る本市の歴史を体系的に編さんします。 資料の収集・調査・研究を通じて本市の歴史を多角的に解明し、その成果を広く市民に公開することで郷土への理解と愛着を深めます。	市史編さん室

5 子育て世代への学習支援

子ども達が豊かな環境の中で過ごすことができるよう、親や地域の教育力の向上を図り、地域社会が一体となった子育て支援を行う体制の充実に努めます。

(1)家庭の教育力の向上

家庭の教育力の向上を図るために、家庭教育に関する学習機会の充実に努めます。

また、子育てにおいて、家庭での学習が重要であることから、読み聞かせの書籍、教材の充実など、図書館と連携し推進します。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
学びと育ちの支援	地域の「子ども食堂」と連携し、読み聞かせボランティアによる読み聞かせや手遊び等を実施し、子どもの学びと育ちを同時に支援する仕組みを検討します。	生涯学習課 図書館

(2)子育て支援の充実

「第3期名取市子ども・子育て支援事業計画」(令和7年度～令和11年度)に基づき、子育て環境を整備し、子育て世代の育児不安解消のため、子育て支援拠点施設coco'l ll(ここいる)をはじめ、保育所、児童センター等の身近な6箇所の施設で相談業務や子育てに関する情報提供、子育て中の保護者同士が交流できる場の充実に努めます。

さらに、教育・保健・福祉分野などの事業実施機関・団体では情報を共有し、各実施機関の事業に生かし、必要に応じ連携を図り、学習機会の提供に努めます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
子どもの居場所づくり	夏休みや放課後に公民館の空きスペースを子ども達に自習室として開放したり、地域の人材を活用した学習サポートや昔遊び体験など、地域全体で子どもを育む環境づくりを推進します。	生涯学習課
なとりぱーくの運営	天候や季節に左右されない屋内遊戯施設「なとりぱーく」を運営します。	こども支援課
子ども食堂への支援	子どもの居場所づくりや、地域コミュニティの醸成のため、地域で活動する「子ども食堂」の運営団体に対し、運営費補助を実施します。	

基本目標3 学びを生かす仕組みづくり

1 学びの成果を生かす機会の拡充

学習成果を発表する機会の充実を図るとともに、身に付けた知識や技能が生かされる仕組みの充実に努め、新たな学習意欲へとつなげます。

(1) 学習成果発表の機会と場の充実

生涯学習関連施設等での発表会や展示会は、学習意欲の高揚と市民の交流・学習活動の輪が広がるきっかけとなることから、さらなる機会の充実を図ります。

また、発表会や展示会を主催する団体等の育成・支援に努めます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
まなフェスの開催	「なとりまなびフェスティバル」を通じて、多様な主体による様々な学びや体験の場の提供と、学びのきっかけづくりを図ります。(P14再掲)	生涯学習課

(2) マナビィ講師登録の啓発と活用促進

当市では、マナビィ講師派遣事業として、多くの市民や団体が市民講師として登録し、町内会やサークル等に出向き、講師として活躍しています。

今後も、市民講師の登録の啓発と登録されている市民講師の一層の活用を図ります。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
講師活用の促進	市民の学びの成果を地域に還元する機会を拡充するため、マナビィ講師の認知度向上と活用促進に取り組みます。 1)「マナビィガイドブック」の内容をより充実させ、配布機会の工夫を図り、広く市民に周知を行います。 2)「マナビィ通信」を定期的に発行し、講師の活動内容や活動状況を広く発信することで、地域の多様な場面での活用を促進します。	生涯学習課

2 地域で活動する人のスキルアップ支援

多くの市民が、福祉、教育、文化、スポーツ、防災、環境など幅広い分野で市や県の講習を受け、介護予防サポーター、食生活改善推進員、防災指導員、本の読み聞かせボランティア等として活躍されています。

(1) 各種リーダー・サポーター等のスキルアップ支援☆

各種リーダー・サポーター等で活動する方々が、今後も主体的に活動できるように、知識・技能の向上を図るための学習機会の提供に努めます。

(2) 各種サポーター等の組織化に向けた支援

各種サポーターやボランティア団体等のさらなる組織化に向けた支援や団体活動への情報・場の提供等の支援に努めます。

基本目標4 学びを支える環境づくり

1 生涯学習関連施設の計画的な整備

(1)老朽化・狭隘化している公民館の計画的な整備

生涯学習の拠点となっている各地区の公民館の中で、新たなまちづくりにより人口が増加し狭隘化している公民館、また老朽化している公民館があります。

このような公民館を、平成29年に策定した「名取市公共施設等総合管理計画」に基づき、公民館の改築・修繕について検討していきます。

◆後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
館腰公民館 移転改築	館腰公民館の令和8年度末の開館に向け、移転改築工事を進めます。	生涯学習課

(2)社会教育施設の適切な維持管理

公民館、図書館、市民体育館、文化会館などの社会教育施設を市民が安心して利用出来るよう、施設の適切な維持管理、必要に応じた設備の更新等に努めます。

◆後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
体育施設整備方針策定	市内の体育施設は老朽化が顕著であり、耐震診断により廃止する施設の代替施設や、新たなニーズに対する施設の整備の検討を含め、今後の体育施設の全体的な方向性を示す方針を策定します。	文化・スポーツ課

2 生涯学習拠点としての公民館の充実

小学校通学区ごとに設置している公民館は、市民に学習の場の提供、学習相談、講座等の開催、社会教育団体等の支援などを行っています。今後も、市民の生涯学習の拠点として、地域学校協働活動への支援や市民協働の視点を取り入れ、公民館の充実に努めます。

(1)市民活動育成のための職員の資質向上

地域の人々、団体、行政等をつなぐ役割を果たすことができるよう、公民館職員の資質向上に努めます。

(2)学習相談機能の向上

市民の多様化・高度化する学習ニーズに対応するために、様々な生涯学習情報を活用し、市民の学習相談に応じることができるよう公民館職員の資質向上に努めます。

(3)公民館と市民活動支援センターの連携

公民館から立ち上がった団体が地域に根ざした活動をするにあたって、必要に応じて公民館が支援するように努めます。

また、団体の活動範囲の広がりや他団体との連携や交流などに発展する場合、市民活動支援センターの支援も必要になります。こういったことから、日頃から公民館と市民活動支援センターが情報交換を通して、連携を図られるように努めます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
公民館と市民活動支援センターの連携推進	公民館と市民活動支援センターの情報共有と連携事業を実施し、地域団体の成長を支援します。 公民館で活動する団体が、市民活動支援センターの専門講座を活用して知識やスキルを高め、地域から市全体へと活動範囲を広げられるよう、両施設が連携して段階的な成長を継続的に支援していきます。	生涯学習課 市民協働課

3 高等教育機関等・関係機関との連携による学習機会の創出

(1) 高等教育機関等の機能を生かした学習機会の提供

市内には、尚絅学院大学や仙台高等専門学校名取キャンパス等があります。このような教育機関の教育機能を生かして、市民に学習機会を提供するように努めます。

～「生涯学習市民意識調査」を受けて～

「市民意識調査」では、「インターネットを通じて」学習したい割合が前回調査より16.5ポイント上昇し、希望する学びの形態も対面学習(46.4%)とオンライン学習(45.6%)がほぼ同等の支持を得ています。この結果は、デジタル技術の進展に伴い、学習環境に対する市民ニーズが多様化していることを示しています。

高等教育機関との連携においても、従来の対面講座に加え、時間や場所を選ばず自宅からでも参加できるオンライン講座の提供など、市民の多様な学習スタイルに対応した学習機会の提供が求められています。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
市民大学 オンデマンド	専門的で多様な学習ニーズに応える『市民大学講座』を開講し、社会人等の学び直し(リカレント教育)を支援するとともに、オンデマンド配信により時間や場所を選ばない新たな学習機会を提供していきます。(P14再掲)	生涯学習課

(2) 市内に所在する関係機関や企業等の機能を生かした学習機会の提供☆

市内には、県の公共機関、社会福祉法人、多種多様な医療機関があり、また様々な企業や市民活動団体が地域貢献の活動を行っています。

このような機関・団体の専門的な機能を活用し、市民ニーズや課題に対応した学習機会の提供に努めます。

特に農業経営体、商工業団体、漁業者等と連携し、児童・生徒・学生が農業体験や職場体験を通して、地場産業への理解を深め、さらに、公共機関や医療機関等とも連携し職業観を形成する機会の創出に努めます。

4 共生社会実現のための環境整備

(1) 多様性を理解するための学習機会の提供

社会教育施設などにおいて、社会的包摂への理解を深めるための学習機会を提供し、多様性を認め合う社会づくりの啓発に努めます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
共生社会への理解	各公民館では、多様性理解や異文化交流をテーマにした講座の開催や、子どもから高齢者、障がいのある方など、あらゆる方が参加できるインクルーシブ(※)なニュースポーツ大会やレクリエーション活動を通して、多世代間の親睦・交流を深めるとともに、互いの違いを認め合い、尊重し合う共生社会への理解を促進する機会を創出します。	生涯学習課

※インクルーシブ… 障がいの有無や国籍、年齢や性別などに関わらず、お互いの違いを認め合って共生していくことを目指す考えのこと。

(2)すべての人に包摂的な学習機会の提供

多様な人々が公平で質の高い学習ができるよう、多様な対象者に向けて学びの場の充実に努めます。また、図書館においては、点字図書等の充実に努めます。

5 生涯学習活動団体への支援

(1)社会教育関係団体への支援

市内には、社会教育・社会体育団体が多く存在します。社会教育関係団体の自主性を尊重しつつ、求めに応じて活動の場、情報の提供や相談等の支援に努めます。

(2)団体・サークル等の情報交換・交流支援

生涯学習で学んだことを地域に生かす機会として、団体・サークル相互の情報交換の場の提供とともに、新規の会員が参加するきっかけとなるような交流機会の提供等の支援に努めます。

6 名取らしい学習資源の発掘と活用

名取市には、美しい田園風景や海浜とともに、西部の丘陵地帯が市民の憩いの場となっています。また、縄文時代以降の各時代に渡る様々な遺跡があり、名取らしい地域の祭りや行事、伝統の味など、後世に伝え残していきたいものがたくさんあります。

(1)新たな学習資源の発掘と活用

名取市の学習資源である自然、文化財、伝統、施設、人材、知恵などの新たな発掘を図り、学習資源の活用を図ります。

人材や知恵については、昔から伝えられてきた暮らしの技や知恵を伝承している人々を発掘し、その人たちが持つ技や知恵について、市民が学べるように学習資源の情報の整理を図ります。

(2)郷土研究・地域研究の奨励・支援

市民が郷土の歴史や文化、伝統などを調査研究する学習活動を奨励・支援します。

(3)マナビィ出前講座の充実

各種団体からの求めに応じて、出前形式で市の職員を講師として派遣しています。今後も、市民の行政に対する関心と理解を深めるために、マナビィ出前講座の充実に努めます。

基本目標5 学びでつながるまちづくり

生涯学習は、自分の暮らしを豊かにするだけでなく、地域との関わりのきっかけにもなります。

より豊かに生きたいと願う思いは、自分の暮らしだけでなく暮らしを取り巻く社会への関心を高めます。「周りをよくしたい」、「暮らしやすい社会にしたい」という思いを行動に移していく取組みが「学びでつながるまちづくり」といえます。

市民一人ひとりが学びを通して社会参加し、行動を起こすことで、まちが活性化し、誰にも居場所のある、誰もが活躍できる豊かなまちが実現されます。

1 学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実

学びにより地域の人々の交流を広めていくことによって、人と人のつながりを育み、地域の仲間づくりを促進します。

また、人と人、人と団体、団体と団体をつなぐコーディネート機能の充実を図ります。

(1) 様々な人や機関・団体をつなぐ関係職員の資質向上

市民や団体の生涯学習活動に対して、適切な支援ができるよう、生涯学習や市民活動に関わる職員の理解・知識の向上を図ります。

(2) 交流による新たなつながりづくり

生涯学習の拠点としての公民館や図書館と市民活動の拠点としての市民活動支援センターが定期的に情報交換を行い、地域活動団体や市民活動団体に適切な助言や情報発信ができるような体制づくりに努めます。

また、活動団体同士が交流するきっかけづくりに努めます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
公民館と市民活動支援センターの連携推進	公民館と市民活動支援センターの情報共有と連携事業を実施し、地域団体の成長を支援します。 公民館で活動する団体が、市民活動支援センターの専門講座を活用して知識やスキルを高め、地域から市全体へと活動範囲を広げられるよう、両施設が連携して段階的な成長を継続的に支援していきます。(P24再掲)	生涯学習課 市民協働課



2 市民と行政の協働の推進

名取市では、「名取市市民活動促進指針」(平成 29 年 3 月改定)及び「名取市市民活動行動指針 2019」(平成 31 年 3 月策定)に基づき、市民活動支援センターを拠点に市民活動団体の支援に努めるとともに、市民協働提案事業を推進しています。

近年、市民の多様化・高度化する学習ニーズや地域の課題に対して行政だけでは解決が困難になってきています。

市民と行政の「協働」を通して、名取市に誇りと愛着を持ち、名取市に住んでよかったと思える安全・安心な地域づくりを目指します。

(1)市民活動団体と行政の協働の充実

市民活動団体は、行政にはない柔軟性、専門性といった特性を備え、地域の活性化に大きな役割を果たしています。

市民の学びの成果を生かす取組みとして、行政と市民活動団体が連携し、共催や委託などの方法により地域課題や社会的課題の解決を図るとともに、地域の活性化に向けた協働の取組みを推進します。

(2)子ども達によるまちづくり活動への支援

子ども会のリーダーの養成や高校生を主体としたジュニアリーダーの養成を行っており、様々な地域の子ども会活動や青少年を対象としたイベント等で青少年が活躍しています。

また、子ども達が住んでいる家の周り、通学している学校周辺などはもとより市全域に至るまで地域をもっとよくしたいという思いを、子ども達自身の活動につなげる事業として「なとりこどもファンド(※)」を実施しています。

将来のまちづくりを支える人材育成と郷土への愛着を育む上でも、子ども達が地域のことを自ら考えて活動していくことに対して支援の充実に努めます

※ なとりこどもファンド… 市内の学校に通学している 18 才以下の子ども 3 人以上で構成するグループが、より魅力的なまちづくり活動を企画・提案し、それを子ども達自身が審査し、採択されれば、子ども達自身が活動していく事業。一つの事業につき最大 10 万円の補助がある。

3 地域学校協働活動の推進

学校は子どもの学習の場であると同時に地域の施設という側面も有しています。市民の多様な経験や技能を生かして子どもの学習にかかわることは、子どもの教育環境を豊かにしていきます。

Society5.0 を迎えるこれからは、地域と学校が手を携え、各種団体や民間事業者をはじめとした様々な地域住民等との連携・協働がますます必要となってきます。体験活動も含めた多様な学習の場をつくるのが、新しい価値を創造していき、子ども達の生き抜く力にもつながります。

地域と学校が連携・協働して、子どもの成長に向けた目標を共有し、地域学校協働活動を推進します。

(1)地域学校協働本部への支援

学校や地域住民、関係団体で組織された地域学校協働本部が継続的・安定的な事業を行うために、情報提供や運営経費等の支援に努めます。

(2)地域学校協働活動の啓発

地域学校協働活動により多くの地域住民や関係団体、企業等の参画を得るために、その意義、目的や地域住民等の参画の重要性について啓発に努めます。

～「生涯学習市民意識調査」を受けて～

「市民意識調査」では、「地域学校協働活動」の認知度は 36.4%、参加意向は 21.0%に留まっています。ただし、40～50 代の参加意欲は 23.7%と他世代より高く、一方で高齢ボランティアの減少傾向が見られました。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
団体・企業等 参画の充実	「仕事博覧会」や「キャリアセミナー」等を通じて、専門知識や職業スキルを持つ地域人材の活躍の場を創出し、地域住民・団体・企業等の参画を促進します。	生涯学習課
協働活動の 周知啓発	活動への理解を深めるため、各種 SNS で積極的に発信するとともに、活動内容や参加方法など、わかりやすいリーフレットを作成し、学校や地域への配布、商業施設等への設置を通じて、幅広い世代層への周知を図ります。	

(3)地域学校協働活動コーディネート機能の充実☆

地域と学校の連絡調整、地域学校協働活動の企画立案等を担うコーディネーターの役割は重要です。

各地域学校協働本部の地域コーディネーターの資質向上を図るとともに、地域コーディネーター間での情報交換や必要な助言を担う統括的なコーディネート機能の充実を図ります。



サマースクール



七夕飾り作り



稲作体験



花町神楽の練習

基本目標6 デジタル社会に対応した学びの推進

1 学びのデジタル化推進

(1) オンデマンド型コンテンツの配信

時間や場所を選ばず、自分のペースで学習できるオンデマンド型コンテンツは、忙しい現代社会において効果的な学習手段です。講座やセミナーの動画配信など、いつでもどこでも学べる環境を整備することで、市民の学習機会の拡大と利便性向上を図ります。

これにより、従来の対面学習と組み合わせたハイブリッド型の学習環境を充実させ、より多くの市民が自身のライフスタイルに合わせて学びに参加できる機会を創出します。

～「生涯学習市民意識調査」を受けて～

「市民意識調査」では、生涯学習を行う環境について「インターネットを通じて」学習したい割合が前回より16.5ポイント上昇しており、対面学習と同様にオンライン学習にも市民の関心が高まっている状況が判明しました。

また、「今後希望する学びの形態」についても、従来の対面学習(46.4%)と同等に、オンライン学習(45.6%)も支持を得ており、今後、ハイブリッド型の学習環境の整備が必要となっていることが伺えます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
市民大学 オンデマンド	専門的で多様な学習ニーズに応える『市民大学講座』を開講し、社会人等の学び直し(リカレント教育)を支援するとともに、オンデマンド配信により時間や場所を選ばない新たな学習機会を提供していきます。(P14再掲)	生涯学習課

(2) 配信に適したコンテンツの検討

オンデマンド型コンテンツの配信においては、単なる対面講座の録画配信にとどまらず、デジタルならではの特性を活かした効果的な学習コンテンツの提供が求められています。特に、時間や場所の制約なく学べる利点を最大限に活用し、社会人の学び直しや、子育て世代の自己啓発など、多様な市民ニーズに対応した質の高いコンテンツの提供が重要となっています。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
配信コンテンツの検討	市民の多様な学習ニーズの把握に努めるとともに、教育関連企業の民間コンテンツの活用も視野に入れながら、社会人の学び直しや子育て世代向けなど、効果的な配信コンテンツを検討していきます。	生涯学習課

2 デジタル情報発信の充実

(1) SNS やスマートフォンアプリを活用した情報提供

情報通信技術の進展により、市民の情報入手手段は従来の紙媒体からデジタル媒体へと大きく変化しています。特に、若い世代を中心に LINE や X(旧 Twitter)等の SNS による情報取得が一般化しており、より効果的な情報提供には、これらのデジタルツールの活用が不可欠となっています。

このような状況を踏まえ、既存の広報手段に加え、デジタル媒体を活用した多様な情報チャネルの構築と、利用者の特性に応じた情報発信に取り組みます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
情報発信の強化	市民の学びに関する情報アクセシビリティと利便性を高めるため、デジタルツールを活用した情報発信を強化します。市公式ポータルアプリ「ナトぽた」で講座・イベント情報を配信するとともに、LINE、X(旧 Twitter)、Instagram など、複数の SNS を活用して各世代の利用傾向に合わせた効果的な情報提供に努めます。	生涯学習課

3 デジタル活用能力の向上

(1) 高齢者向け ICT 活用講座の実施

デジタル社会の進展により、行政手続きや日常生活における ICT 機器の活用が不可欠となっています。しかし、高齢者層においては、デジタル機器の利用に不安を感じる方も多く、デジタルデバイド(情報格差)の解消と対策が課題となっています。

このため、高齢者が安心して ICT 機器を活用できるよう、スマートフォンの基本操作や SNS の使い方など、実践的な学習機会を継続的に提供し、高齢者のデジタルリテラシー向上を支援します。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
デジタルデバイド対策	スマートフォンの活用を学習する機会の提供を図ります。 公民館主催事業等へのスマホ講師・相談員を派遣します。 (P18再掲)	DX 推進室
スマホ講座の実施	高齢者のデジタル活用能力の向上を図るため、携帯電話事業者等と連携し、スマートフォン講座を継続的に開催します。 また、受講生同士が学び合える環境づくりを支援し、継続的な学習の支援体制の構築に努めます。	生涯学習課

(2)多様なデジタル活用体験の促進

ICT 活用の広がりを支援するため、基本的なスキル習得に加え、多様なデジタル体験の機会を創出します。その一環として、近年注目を集める e スポーツ等のデジタルコンテンツを活用した世代間の交流イベントや活動を検討します。

高齢者にとってもデジタル技術を楽しみながら学び、活用する機会を提供するとともに、若年層との交流を通じて世代を超えた絆づくりや地域コミュニティの活性化につなげていきます。

◆ 後期の主な重点施策(リーディングプロジェクト)

タイトル	事業内容	担当課
e スポーツの促進	デジタル機器への抵抗払拭やフレイル(加齢により心身が衰えていく状態)対策のための e スポーツ体験機器の貸出を行います。(P18再掲)	DX 推進室
e スポーツイベント開催	多世代で楽しめる e スポーツイベントを開催し、あらゆる世代がデジタル機器に親しむ機会を創出します。ICT 活用への不安解消と健康増進を同時に促進するとともに、世代間交流の新たな場として地域コミュニティの絆づくりと活性化を図ります。	生涯学習課



“まなびフェスティバル”での
e スポーツ体験コーナー



公民館の“新春のつどい”で e スポーツを体験

第6章 成果指標の再設定

令和6年度に実施した「生涯学習市民意識調査」の結果を踏まえ、令和7年度から令和12年度までの後期計画における成果指標を下記のとおり再設定します。

【成果指標】

基本目標	指標項目	実績 (平成30年度)	実績 (令和6年度)	当初目標 (令和12年度)	再設定目標 (令和12年度)
1 学びにつながるきっかけづくり	生涯学習を行っている市民の割合	64.5%	59.6%	70.0%	65.0%
2 多彩な学びの場づくり	市の機関による学習機会提供数(延べ)	1,462回	1,819回	1,700回	1,850回
3 学びを生かす仕組みづくり	マナビィ講師等派遣数	176件	290件	320件	320件
4 学びを支える環境づくり	公民館利用者数	209,353人	230,000人	250,000人	250,000人
5 学びでつながるまちづくり	「地域学校協働活動」に参加したい市民の割合	38.5%	21.0%	50.0%	30.0%

※ 「生涯学習を行っている市民の割合」及び「「地域学校協働活動」に参加したい市民の割合」の実績数値は、令和6年8月調査の「生涯学習市民意識調査」の数値に基づく。

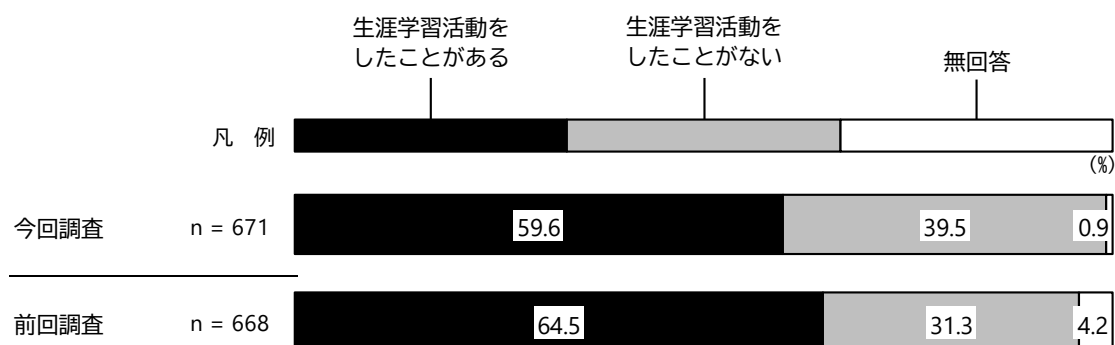
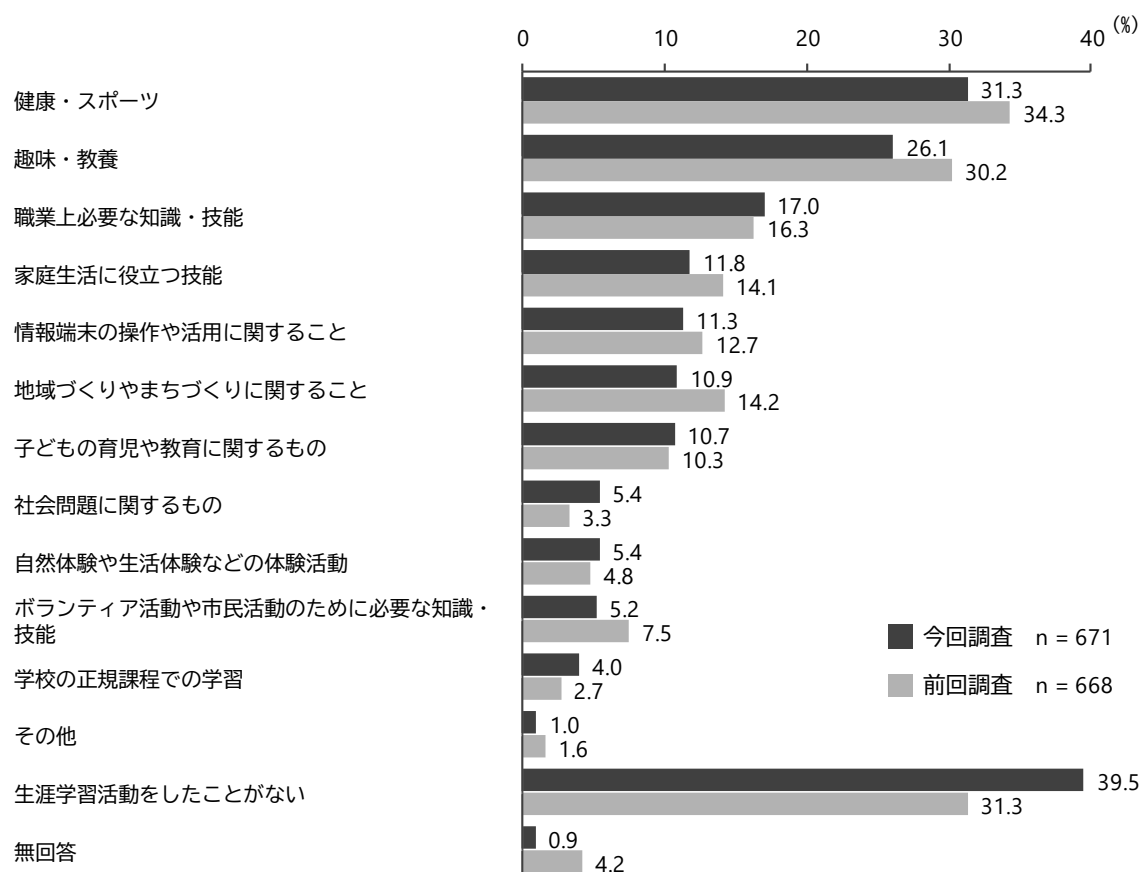
第7章 資料編

1 「名取市生涯学習市民意識調査」調査結果からみえる課題

(1) 生涯学習の意向について

直近1年間において、何らかの生涯学習を実施している「生涯学習をしたことがある」は59.6%と、前回調査時（64.5%）と比較すると4.9ポイント下降した。

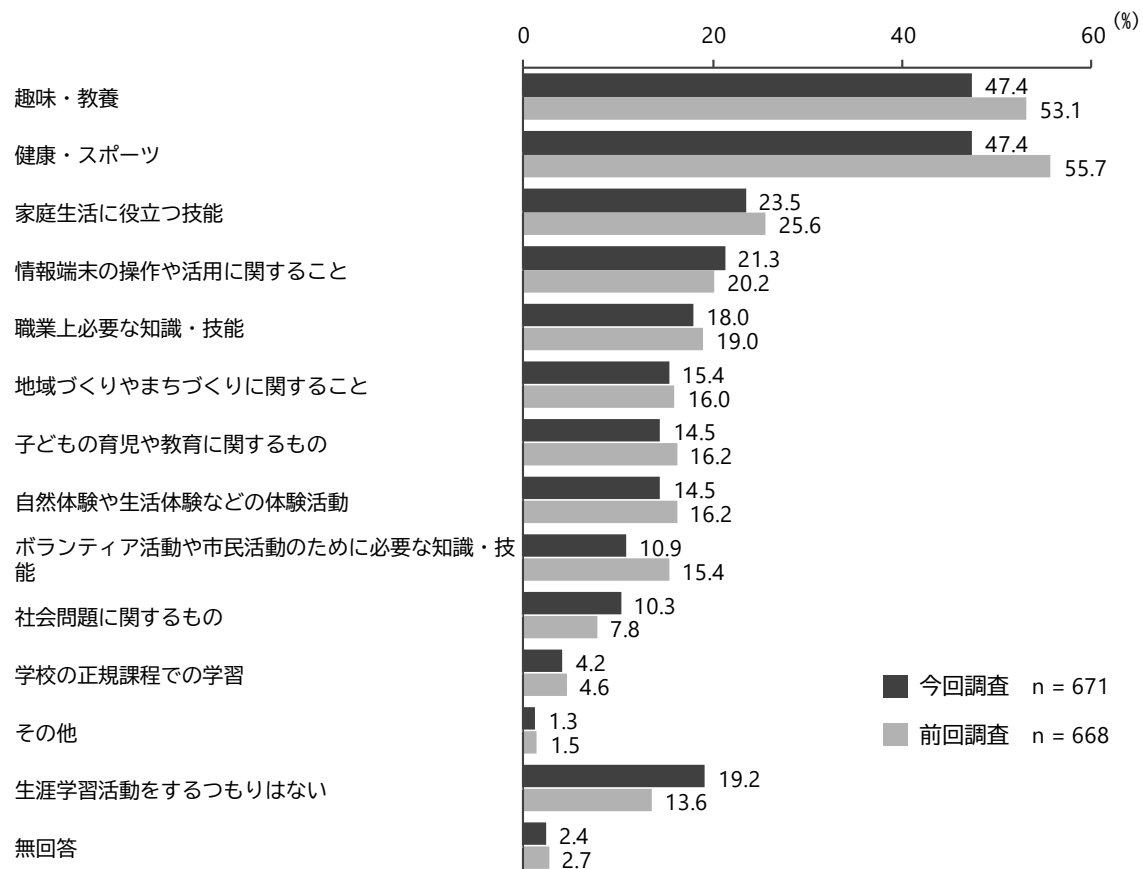
【この1年間における生涯学習の経験内容（再掲）】

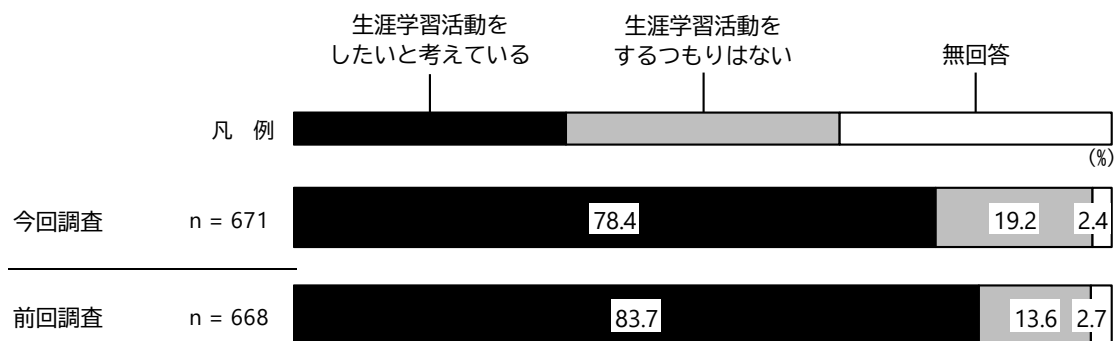


(上段：件数、下段：%)																あ
	調 査 数	健 康 ・ ス ポ ー ツ	趣 味 ・ 教 養	職 業 上 必 要 な 知 識 ・ 技 能	家 庭 生 活 に 役 立 つ 技 能	情 報 端 末 の 操 作 や 活 用 に 関 する こ と	地 域 づ く り や ま ち づ く り に 関 する こ と	子 ど も の 育 児 や 教 育 に 関 する も の	社 会 問 題 に 関 する も の	体 験 活 動 や 生 活 体 験 な ど の	能 動 的 に 必 要 な 知 識 ・ 技 術	学 校 の 正 規 課 程 で の 学 習	そ の 他	生 涯 学 習 活 動 を し た こ と が	無 回 答	あ る 生 涯 学 習 活 動 を し た こ と が
全 体	671	210	175	114	79	76	73	72	36	36	35	27	7	265	6	400
	100.0	31.3	26.1	17.0	11.8	11.3	10.9	10.7	5.4	5.4	5.2	4.0	1.0	39.5	0.9	59.6
■性別																
男性	284	100	69	49	19	47	43	23	20	15	14	7	2	110	3	171
	100.0	35.2	24.3	17.3	6.7	16.5	15.1	8.1	7.0	5.3	4.9	2.5	0.7	38.7	1.1	60.2
女性	358	104	98	61	58	28	27	45	15	19	20	20	5	141	3	214
	100.0	29.1	27.4	17.0	16.2	7.8	7.5	12.6	4.2	5.3	5.6	5.6	1.4	39.4	0.8	59.8
■年代別																
10代	21	11	10	5	4	5	3	-	2	-	3	12	-	2	-	19
	100.0	52.4	47.6	23.8	19.0	23.8	14.3	-	9.5	-	14.3	57.1	-	9.5	-	90.5
20～30代	115	32	32	37	15	18	6	22	8	5	5	11	-	35	-	80
	100.0	27.8	27.8	32.2	13.0	15.7	5.2	19.1	7.0	4.3	4.3	9.6	-	30.4	-	69.6
40～50代	244	82	55	51	29	23	17	31	7	19	10	2	3	97	1	146
	100.0	33.6	22.5	20.9	11.9	9.4	7.0	12.7	2.9	7.8	4.1	0.8	1.2	39.8	0.4	59.8
60代以上	287	84	76	21	31	30	47	18	19	11	17	2	4	130	5	152
	100.0	29.3	26.5	7.3	10.8	10.5	16.4	6.3	6.6	3.8	5.9	0.7	1.4	45.3	1.7	53.0

今後どのような生涯学習をしたいかについて、1つ以上回答した「今後生涯学習をしたいと考えている」は、78.4%と、前回調査時（83.7%）と比較すると5.3ポイント下降したものの、依然として多くの市民が生涯学習に対して意欲的であることがわかる。

【今後どのような生涯学習をしたいか（再掲）】



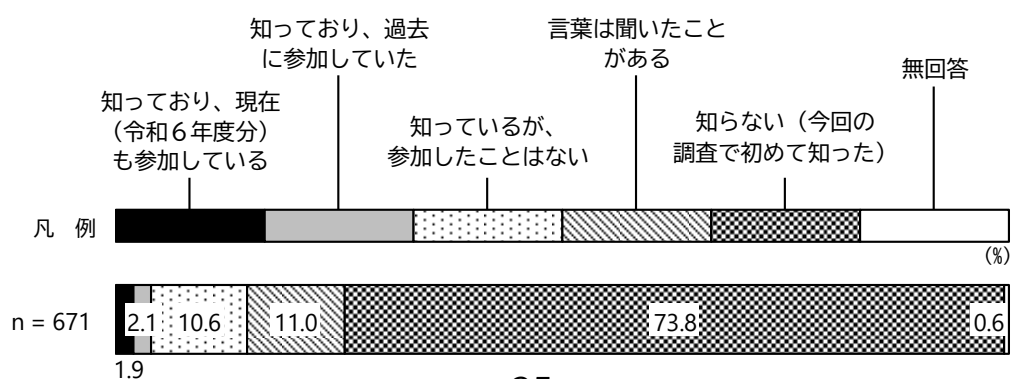


(上段：件数、下段：%)																	
	調査数	趣味・教養	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	情報端末の操作や活用に関すること	職業上必要な知識・技能	地域づくりやまちづくりに関すること	子どもの育児や教育に関するもの	自然体験や生活体験などの体験活動	運動のために必要な知識・技術	ボランティア活動や市民活動	社会問題に関するもの	学校の正規課程での学習	その他	生涯学習活動をするつもりはない	無回答	生涯学習活動をしたいと考えている
全体	671 100.0	318 47.4	318 47.4	158 23.5	143 21.3	121 18.0	103 15.4	97 14.5	97 14.5	73 10.9	69 10.3	28 4.2	9 1.3	129 19.2	16 2.4	526 78.4	
■性別																	
男性	284 100.0	118 41.5	140 49.3	40 14.1	68 23.9	48 16.9	64 22.5	29 10.2	47 16.5	42 14.8	42 14.8	12 4.2	3 1.1	64 22.5	6 2.1	214 75.4	
女性	358 100.0	188 52.5	169 47.2	114 31.8	72 20.1	69 19.3	35 9.8	64 17.9	49 13.7	28 7.8	25 7.0	16 4.5	6 1.7	56 15.6	9 2.5	293 81.8	
■年代別																	
10代	21 100.0	11 52.4	9 42.9	6 28.6	6 28.6	9 42.9	1 4.8	3 14.3	2 9.5	1 4.8	1 4.8	6 28.6	-	1 4.8	-	20 95.2	
20～30代	115 100.0	56 48.7	52 45.2	37 32.2	22 19.1	39 33.9	8 7.0	48 41.7	21 18.3	5 4.3	13 11.3	3 2.6	-	11 9.6	2 1.7	102 88.7	
40～50代	244 100.0	117 48.0	127 52.0	60 24.6	44 18.0	57 23.4	37 15.2	41 16.8	37 15.2	30 12.3	21 8.6	13 5.3	6 2.5	41 16.8	4 1.6	199 81.6	
60代以上	287 100.0	132 46.0	129 44.9	55 19.2	71 24.7	16 5.6	57 19.9	4 1.4	37 12.9	37 12.9	34 11.8	6 2.1	3 1.0	75 26.1	10 3.5	202 70.4	
■生涯学習の経験有無別																	
1年以内に経験あり	400 100.0	243 60.8	236 59.0	112 28.0	102 25.5	92 23.0	80 20.0	71 17.8	73 18.3	57 14.3	51 12.8	19 4.8	5 1.3	17 4.3	8 2.0	375 93.8	
1年以内に経験なし	265 100.0	74 27.9	80 30.2	45 17.0	41 15.5	29 10.9	22 8.3	26 9.8	24 9.1	15 5.7	17 6.4	9 3.4	3 1.1	110 41.5	7 2.6	148 55.8	

市民の意欲を行動につなげるような講座や事業、学習グループについて、多様な媒体で発信するなど、生涯学習を始める動機づけに関する支援のさらなる充実が課題だと考えられる。

また、市が生涯学習活動の奨励のための活動として令和5年度より行っている「なとりまなびパスポート事業」については、「知らない（今回の調査で初めて知った）」が7割以上となっている。

【「なとりまなびパスポート事業」の認知および参加状況（再掲）】



(上段：件数、下段：%)

	調査数	年知 度つ 分て ）お り、 参 加 し て い る	て知 いつ てお り、 過 去 に 参 加 し た	と知 はつ てい る が、 参 加 し た こ と は な い	言 葉 は 聞 い た こ と が あ る	め知 てら ない （今 回 の 調 査 で 初 め 知 つ た ）	無 回 答
全 体	671 100.0	13 1.9	14 2.1	71 10.6	74 11.0	495 73.8	4 0.6

■性別

男性	284 100.0	3 1.1	2 0.7	26 9.2	27 9.5	225 79.2	1 0.4
女性	358 100.0	9 2.5	12 3.4	44 12.3	44 12.3	246 68.7	3 0.8

■年代別

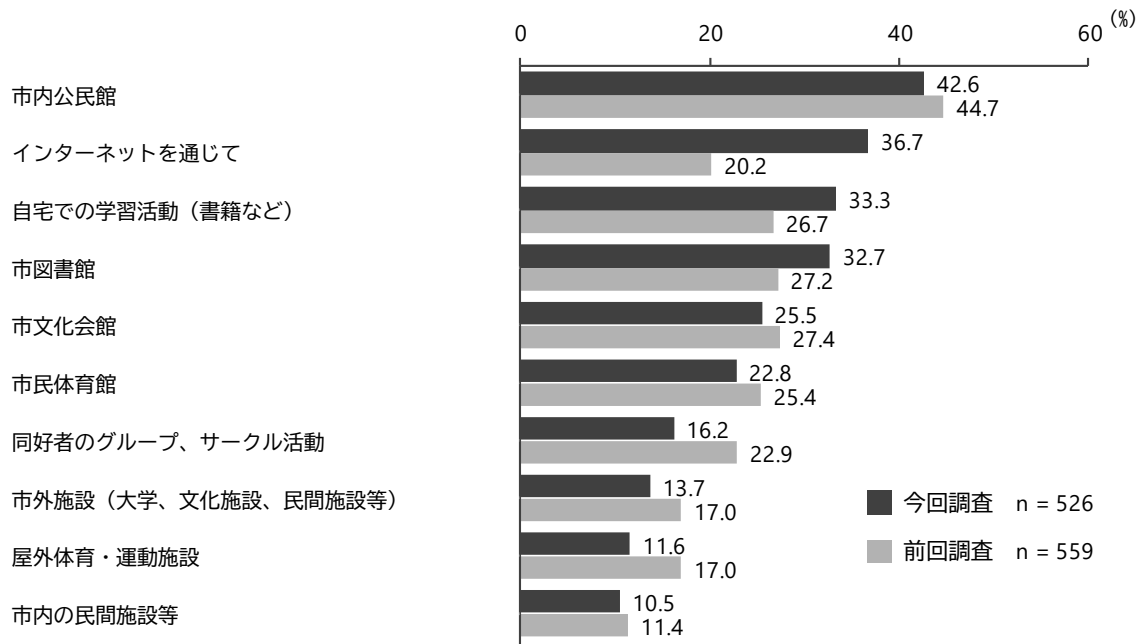
10代	21 100.0	- -	- -	- -	3 14.3	18 85.7	- -
20～30代	115 100.0	- -	2 1.7	8 7.0	7 6.1	98 85.2	- -
40～50代	244 100.0	6 2.5	3 1.2	29 11.9	26 10.7	180 73.8	- -
60代以上	287 100.0	7 2.4	9 3.1	33 11.5	38 13.2	196 68.3	4 1.4

市民の関心を生涯学習活動につなげていくために、この事業がより市民に利用され、親しまれる事業となるよう、一層の啓発が必要だと考えられる。

(2) 生涯学習を行う環境について

生涯学習をしたい施設や方法については、「市内公民館」が42.6%と最も高く、生涯学習の拠点として公民館は特に期待されていることがわかる。一方、「インターネットを通じて」は前回調査時(20.2%)と比較すると10ポイント以上上昇しており、市民の関心が高まっていることがわかる。

【生涯学習をしたい施設や方法（上位10項目のみ再掲）】

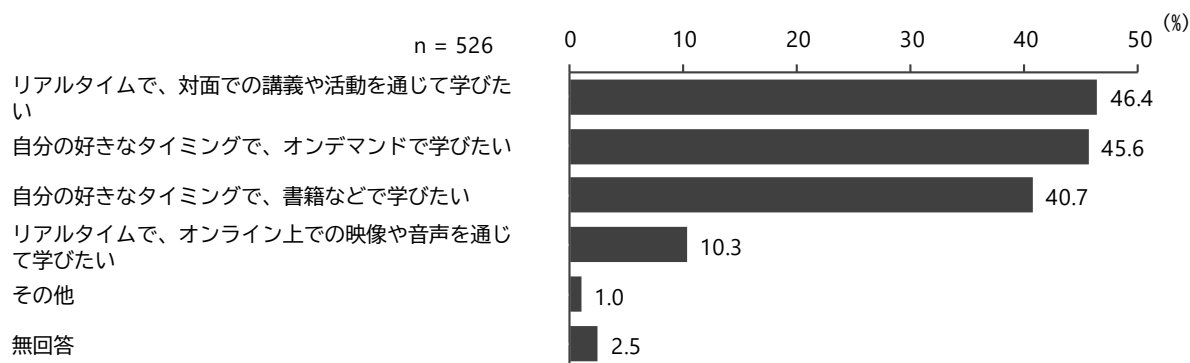


(上段：件数、下段：%)

	調査数	市内公民館	インターネットを通じて	自宅での学習活動（書籍など）	市図書館	市文化会館	市民体育館	同好者のグループ、サークル活動	市外施設（大学、文化施設、民間施設等）	屋外体育・運動施設	市内の民間施設等	市民活動支援センター	市内の大学、高校	職場の教育、研修	ラジオやテレビを通じて	市内の社会福祉法人、医療法人	被災者対象のサロン	その他	無回答
全 体	526 100.0	224 42.6	193 36.7	175 33.3	172 32.7	134 25.5	120 22.8	85 16.2	72 13.7	61 11.6	55 10.5	48 9.1	47 8.9	46 8.7	37 7.0	24 4.6	3 0.6	13 2.5	6 1.1
■性別																			
男性	214 100.0	88 41.1	86 40.2	78 36.4	64 29.9	48 22.4	49 22.9	31 14.5	33 15.4	33 15.4	25 11.7	18 8.4	18 8.4	12 5.6	18 8.4	11 5.1	1 0.5	6 2.8	1 0.5
女性	293 100.0	127 43.3	103 35.2	96 32.8	103 35.2	79 27.0	68 23.2	49 16.7	35 11.9	24 8.2	29 9.9	27 9.2	25 8.5	31 10.6	19 6.5	13 4.4	2 0.7	7 2.4	5 1.7
■年代別																			
10代	20 100.0	4 20.0	6 30.0	7 35.0	10 50.0	5 25.0	4 20.0	-	3 15.0	3 15.0	1 5.0	-	3 15.0	-	3 15.0	-	-	-	-
20～30代	102 100.0	23 22.5	65 63.7	48 47.1	45 44.1	20 19.6	19 18.6	9 8.8	12 11.8	12 11.8	6 5.9	9 8.8	10 9.8	19 18.6	9 8.8	5 4.9	1 1.0	1 1.0	-
40～50代	199 100.0	85 42.7	83 41.7	67 33.7	57 28.6	56 28.1	54 27.1	35 17.6	33 16.6	20 10.1	35 17.6	16 8.0	19 9.5	22 11.1	14 7.0	6 3.0	1 0.5	7 3.5	2 1.0
60代以上	202 100.0	110 54.5	39 19.3	53 26.2	59 29.2	50 24.8	42 20.8	40 19.8	23 11.4	25 12.4	13 6.4	22 10.9	14 6.9	5 2.5	11 5.4	13 6.4	1 0.5	5 2.5	4 2.0

また、生涯学習活動をする場合、希望する学びの形態については、「リアルタイムで、対面での講義や活動を通じて学びたい」が 46.4%と最も高くなっているものの、次いで「自分の好きなタイミングで、オンデマンドで学びたい」が 45.6%となっていることから、公民館等の施設での学びと、インターネットを通じた学びがともに期待されていることがわかる。

【生涯学習活動をする場合、希望する学びの形態（再掲）】

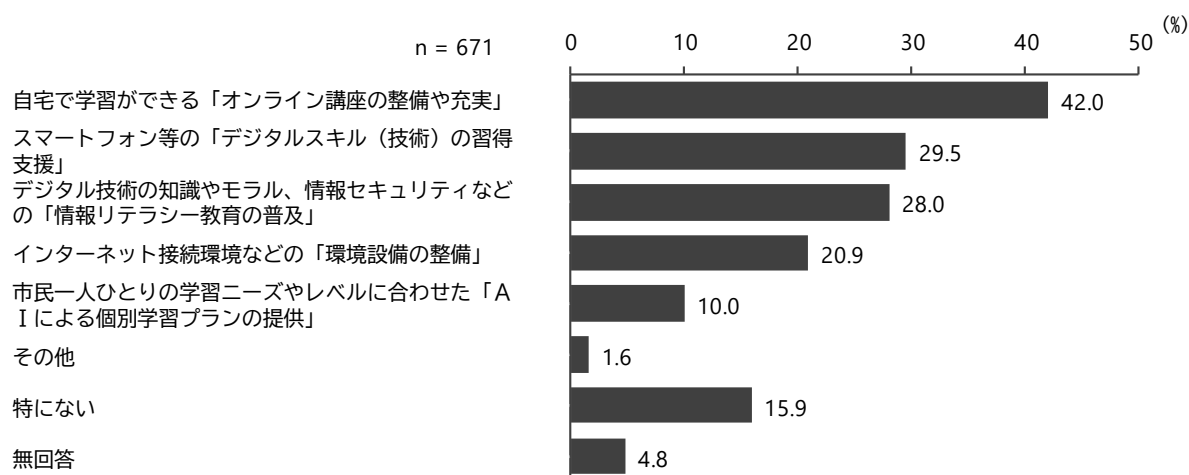


(上段：件数、下段：%)

	調査数	リアルタイムで、対面での講義や活動を通じて学びたい	自分の好きなタイミングで、オンデマンドで学びたい	自分の好きなタイミングで、書籍などで学びたい	リアルタイムで、オンライン上での映像や音声を通じて学びたい	その他	無回答
全 体	526 100.0	244 46.4	240 45.6	214 40.7	54 10.3	5 1.0	13 2.5
■性別							
男性	214 100.0	81 37.9	108 50.5	106 49.5	24 11.2	5 2.3	4 1.9
女性	293 100.0	150 51.2	123 42.0	103 35.2	26 8.9	-	9 3.1
■年代別							
10代	20 100.0	10 50.0	10 50.0	6 30.0	1 5.0	-	-
20～30代	102 100.0	31 30.4	62 60.8	52 51.0	11 10.8	-	1 1.0
40～50代	199 100.0	102 51.3	105 52.8	74 37.2	26 13.1	2 1.0	1 0.5
60代以上	202 100.0	98 48.5	61 30.2	82 40.6	15 7.4	3 1.5	11 5.4

加えて「今後のデジタル社会において、これからの生涯学習で重要だと思うこと」については、「自宅で学習ができる「オンライン講座の整備や充実」」が 42.0%と最も高く、次いで「スマートフォン等の「デジタルスキル（技術）の習得の支援」」（29.5%）と、オンラインによる学習環境の整備やデジタル機器の利活用に関する市民の関心が高いといえる。

【今後のデジタル社会において、これからの生涯学習で重要だと思うこと（再掲）】



(上段：件数、下段：%)

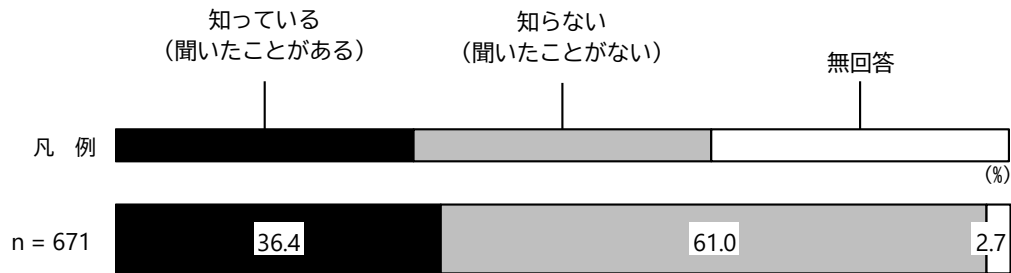
	調査数	自宅で学習ができる「オンライン講座の整備や充実」	デジタルスキル（技術）の習得の支援	デジタル技術の知識やモラル、情報セキュリティ教育の普及	インターネット接続環境などの「環境設備の整備」	AIによる個別学習プランの提供	その他	特にない	無回答
全 体	671 100.0	282 42.0	198 29.5	188 28.0	140 20.9	67 10.0	11 1.6	107 15.9	32 4.8
■性別									
男性	284 100.0	115 40.5	86 30.3	89 31.3	56 19.7	30 10.6	5 1.8	53 18.7	10 3.5
女性	358 100.0	155 43.3	104 29.1	89 24.9	77 21.5	33 9.2	5 1.4	51 14.2	22 6.1
■年代別									
10代	21 100.0	7 33.3	4 19.0	4 19.0	6 28.6	2 9.5	-	5 23.8	2 9.5
20～30代	115 100.0	66 57.4	36 31.3	44 38.3	25 21.7	16 13.9	2 1.7	7 6.1	1 0.9
40～50代	244 100.0	127 52.0	67 27.5	63 25.8	68 27.9	25 10.2	5 2.0	28 11.5	7 2.9
60代以上	287 100.0	82 28.6	90 31.4	75 26.1	40 13.9	24 8.4	3 1.0	67 23.3	22 7.7

既存の施設の利便性を高め、活動を活発化させていくとともに、多様なデジタル媒体の活用も充実させていくことが求められている。各世代にあった方法で生涯学習情報を提供し、生涯学習の環境を整備していくことが重要だと考えられる。

(3) 地域活動について

「地域学校協働活動」を知っているかについて、「知っている」は36.4%にとどまっている。一方、「知らない」との回答は、男性が女性に比べて高く、30代以下が40代以上に比べて高くなっており、地域学校協働活動の認知度には性別や年代により差があるといえる。

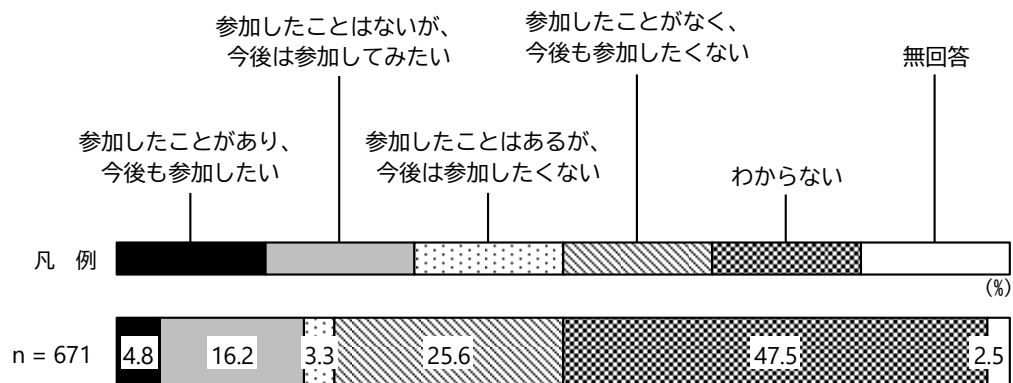
【「地域学校協働活動」を知っているか（再掲）】



(上段：件数、下段：%)				
	調査数	知っている (聞いたことが ある)	知らない (聞いたことが ない)	無 回 答
全 体	671 100.0	244 36.4	409 61.0	18 2.7
■性別				
男性	284 100.0	84 29.6	194 68.3	6 2.1
女性	358 100.0	149 41.6	197 55.0	12 3.4
■年代別				
10代	21 100.0	6 28.6	15 71.4	- -
20～30代	115 100.0	28 24.3	86 74.8	1 0.9
40～50代	244 100.0	99 40.6	142 58.2	3 1.2
60代以上	287 100.0	110 38.3	163 56.8	14 4.9

「地域学校協働活動」への参加意向について、「参加したことがあり、今後も参加したい」及び「参加したことはないが、今後は参加してみたい」との回答の合計値が 21.0%にとどまっている。

【「地域学校協働活動」への参加意向（再掲）】



(上段：件数、下段：%)

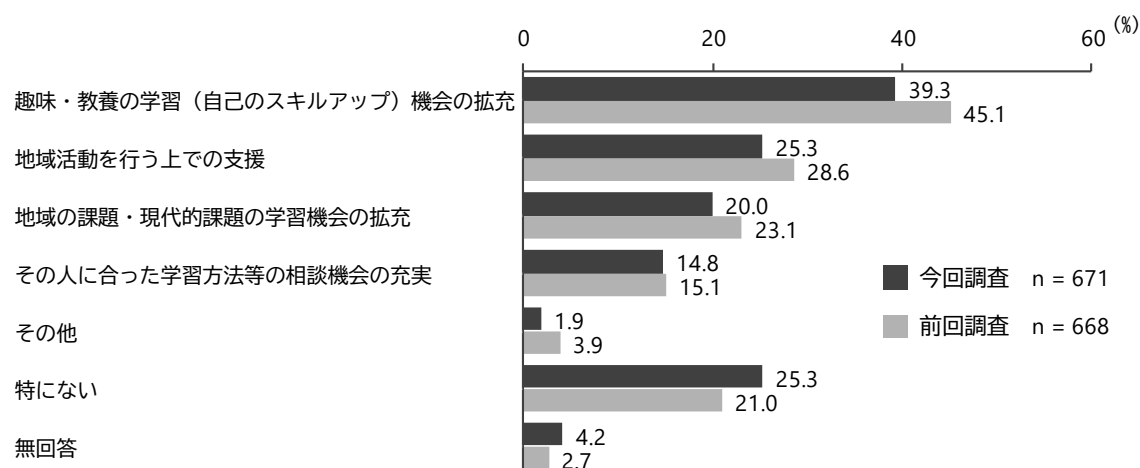
	調査数	も参加したことがあり、今後	参加したことはないが、今後	参加したことはあるが、今後	も参加したことがなく、今後	わからない	無回答
全 体	671	32	109	22	172	319	17
	100.0	4.8	16.2	3.3	25.6	47.5	2.5
■性別							
男性	284	13	50	8	70	139	4
	100.0	4.6	17.6	2.8	24.6	48.9	1.4
女性	358	17	55	12	94	168	12
	100.0	4.7	15.4	3.4	26.3	46.9	3.4
■年代別							
10代	21	-	4	-	2	15	-
	100.0	-	19.0	-	9.5	71.4	-
20～30代	115	4	20	1	33	56	1
	100.0	3.5	17.4	0.9	28.7	48.7	0.9
40～50代	244	14	44	4	63	115	4
	100.0	5.7	18.0	1.6	25.8	47.1	1.6
60代以上	287	14	41	17	74	130	11
	100.0	4.9	14.3	5.9	25.8	45.3	3.8

地域学校協働活動への関心を高め、参加を促進するような啓発を行うとともに、市民が生涯学習で身に付けた知識・技能や経験を地域活動で生かせる仕組みを構築することで、市民の生涯学習の推進に加えて、地域の活性化も期待される。

生涯学習の推進と併せて、市民が地域活動に参加しやすいような体制づくりと啓発活動を充実させていくことが求められる。

生涯学習を盛んにするために公民館で充実すべきだと思うサービスについては、「趣味・教養の学習（自己のスキルアップ）機会の拡充」が 39.3%と最も高く、次いで「地域活動を行う上での支援」（25.3%）となっている。各公民館をはじめとした行政やボランティア団体が主体となり地域活動を推進することを通じて、市民が地域活動や生涯学習に関わる機会を充実させることが課題だと考えられる。

【生涯学習を盛んにするために公民館で充実すべきだと思うサービス（再掲）】



（上段：件数、下段：％）

	調査数	趣味・教養の学習（自己のスキルアップ）機会の拡充	地域活動を行う上での支援	地域の課題・現代的課題の学習機会の拡充	その人に合った学習方法等の相談機会の充実	その他	特になし	無回答
全 体	671 100.0	264 39.3	170 25.3	134 20.0	99 14.8	13 1.9	170 25.3	28 4.2
■性別								
男性	284 100.0	108 38.0	72 25.4	64 22.5	42 14.8	7 2.5	78 27.5	7 2.5
女性	358 100.0	143 39.9	88 24.6	65 18.2	52 14.5	6 1.7	87 24.3	18 5.0
■年代別								
10代	21 100.0	4 19.0	3 14.3	3 14.3	5 23.8	1 4.8	8 38.1	-
20～30代	115 100.0	51 44.3	19 16.5	21 18.3	27 23.5	2 1.7	32 27.8	2 1.7
40～50代	244 100.0	112 45.9	64 26.2	47 19.3	31 12.7	7 2.9	56 23.0	5 2.0
60代以上	287 100.0	94 32.8	82 28.6	63 22.0	36 12.5	3 1.0	74 25.8	20 7.0

生涯学習や、地域活動に参加しやすくなるような体制づくりを推進していくために、地域と学校、家庭、活動団体が連携し、推進体制を充実させていくことが求められる。

2 「名取市生涯学習市民意識調査」調査票

『名取市生涯学習市民意識調査』へのご協力のお願い

皆様方におかれましては、日頃から市政に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当市では、令和2年3月に「名取市生涯学習振興計画」を策定し、市民の皆様が学びに参加していただき、健康づくりや教養を深め、生きがいのある生活を送ることができ、ひいては地域コミュニティの活性化に結び付くことをねらいとして各種施策を推進しております。

このたび、令和12年度までの計画期間の中間年度を迎え、市民ニーズ及び成果指標の状況等を把握し、中間評価を行うため、アンケート調査を実施することとなりました。

このアンケートで対象となる方は、令和6年6月1日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民、2,000名の方となります。

本アンケート調査の実施にあたりましては、個人情報保護の観点から無記名（自分の名前を記入しない）方式でお願いします。

皆様が普段、生涯学習についてお考えになっていることや意見や要望、更に学習活動などについて、ご意見をお聞かせくださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和6年8月9日

名取市生涯学習推進本部 本部長

名取市長 山田 司郎

＜ご記入にあたって＞

- 1 回答は、当てはまる番号の数字に○印をつけてください。設問によっては○をつける数が異なりますので、設問に沿ってご記入ください。
- 2 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**8月25日（日）**までに、お近くの郵便ポストにご投函ください。
- 3 この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

生涯学習推進本部

事務局：教育委員会 教育部 生涯学習課（電話 022-724-7173）

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1) 居住地区 (1つだけ○)	1. 増田地区 2. 増田西地区 3. 名取が丘地区 4. 閑上地区 5. 下増田地区 6. 館腰地区	7. 愛島地区 8. 高館地区 9. ゆりが丘・みどり台地区 10. 相互台地区 11. 那智が丘地区
(2) 性別 (1つだけ○)	1. 男性	2. 女性 3. その他
(3) 年齢 (1つだけ○)	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代	5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
(4) 職業 (1つだけ○)	1. 会社員 2. 公務員、団体職員 3. 農業、林業、漁業 4. 自営業（商業、サービス業等） 5. 自営業（工業、製造業等）	6. パート、アルバイトなど 7. 専業主婦（主夫） 8. 学生（専門学校生含む） 9. 無職 10. その他
(5) 勤務先（通学先） (1つだけ○)	1. 名取市内 2. 仙台市 3. 岩沼市	4. 名取、仙台、岩沼市以外の宮城県内 5. 宮城県外 6. 勤務（就学）していない

この1年間(令和5年8月から現在まで)の「生涯学習」の経験についておたずねします

「生涯学習」とは、人々が、生涯にわたっていつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

【すべての方にお聞きます】

問1 あなたは、この1年間に、以下のような「生涯学習」をしたことがありますか。
(いくつでも○)

1. 趣味・教養（音楽、美術、華道、舞踊、書道、文学、歴史、科学、語学など）
2. 地域づくりやまちづくりに関すること（地域支え合い、防災、地域おこしなど）
3. 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）
4. 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、球技、水泳など）
5. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
6. 子どもの育児や教育に関するもの
7. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8. 情報端末（パソコン、スマートフォンなど）の操作や活用に関すること
9. ボランティア活動や市民活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校（高等学校、高等専門学校、各種専門学校、大学、大学院など）の正規課程※での学習
12. その他（ ）
13. 生涯学習活動をしたことがない ⇒問2へ

※正規課程：教育機関の定める修業年数を満たし、卒業・修了要件となっている単位を修得すると学位や称号が取得できる課程です。

問 1-2 あなたは、どのような施設や方法で「生涯学習」をしたことがありますか。
(いくつでも○)

- 【問1で1～12と答えた方にお聞きします】

1. その学習が好きだから
2. 家庭・日常生活に活用するため
3. 自由時間を有効に活用するため
4. 健康の維持・増進のため
5. 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため
6. 現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため
7. 地域や社会をよりよくするため
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

【問 1 で 1 ～ 12 と答えた方にお聞きします】

問 1－4 あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。（3 つまで○）

1. 自分の健康の維持・増進
2. 子どもの育児や教育
3. 日常の消費生活
4. 自分の職業・仕事
5. 自分の趣味活動
6. 地域での子育て(子ども会活動を含む)の支援、青少年の健全育成活動、その他の支援活動
7. 地域での高齢者対象の保健、医療、福祉の支援活動、学習活動の支援など
8. 地域スポーツの指導、スポーツ活動の支援
9. 外国との異文化交流、地元の外国人居住者との国際交流活動
10. 文化財の保護、伝統文化の保存、継承など地域文化活動
11. ごみ減量を含む自然環境保全活動
12. 地域の課題を仲間と共有し、課題を解決する活動
13. その他（ ）
14. 生かしていない

【問 1 で 1 ～ 12 と答えた方にお聞きします】

問 1－5 あなたが、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点は何ですか。（いくつでも○）

1. 知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない（社会的な評価を受けていない）
2. 学んだ内容と求められる内容が一致していない
3. 身近で生かせる活動を見つけられない
4. どのような活動に生かすことができるのかわからない
5. 生かすことができるまでの段階に到達していない
6. その他（ ）
7. 特に困っている点はない

【問1で「生涯学習活動をしたことがない」と答えた方にお聞きます】

問2 あなたが、「生涯学習」を行っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 忙しくて時間がない
2. 費用がかかる
3. 学習したいが、相談できる窓口がわからない
4. 必要な情報(内容・時間・場所・費用など)がなかなか入手できず、きっかけがつかめない
5. 一緒に学習や活動をする仲間がいない
6. 身近なところに施設や場所がない
7. 提供される学習の内容が希望に合わない
8. その他()
9. 生涯学習の必要性を感じない
10. 特に理由はない

「生涯学習」に関する市内の施設・情報発信についておたずねします

名取市では、生涯学習を推進していく環境づくりとして、公民館をはじめ図書館、文化会館、体育（スポーツ）施設などを整備し、それぞれの施設がもつ学習機能を生かした事業の実施、市民への利用開放などに取り組んでいます。

【すべての方にお聞きします】

問3 あなたは、以下の施設で「生涯学習」に関する事業、市民への利用開放が実施されていることをご存知でしたか。また利用したことはありますか。

(①～⑧それぞれについて、1つずつ○)

①市内公民館	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない
②市図書館	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない
③市民活動支援センター	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない
④市文化会館	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない
⑤市民体育館	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない
⑥十三塚公園内体育施設	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない
⑦増田体育館、高館体育館、閑上体育館、名取が丘グラウンド等の無料体育施設※	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない
⑧小・中学校の学校開放施設（校庭、体育館等）	1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない

※増田体育館、高館体育館は現在休止中です。

問 4 名取市では、各広報媒体でも「生涯学習」に関する情報提供を行っています。あなたは、次の広報を読んだりラジオを聞いたりSNSを見たりしていますか。

(①～④それぞれについて、1つずつ○)

①広報なとり	1. 読んでいる 2. ほとんど読まない 3. 知らない
②公民館だより	1. 読んでいる 2. ほとんど読まない 3. 知らない
③なとらじ (エフエムなとり)	1. 聞いている 2. ほとんど聞かない 3. 知らない
④名取市公式SNS (Facebook、インスタグラム)	1. 見ている 2. ほとんど見ない 3. 知らない

問 5 生涯学習課では名取市ホームページ内に個別のページを設けて、市内で開催される生涯学習活動、事業、さらに生涯学習施設の利用や開催イベントなどに関する情報を広く案内しています。あなたは、名取市ホームページ内の生涯学習課のページを利用したことがありますか。(1つだけ○)

1. よく見ており、自分の学習に活用している
2. よく見ているが、自分の学習に活用していない
3. ときどき見ており、自分の学習に活用している
4. ときどき見ているが、自分の学習に活用していない
5. 「ホームページ」に個別のページがあることを知らなかった
6. 特に関心はない

問 6 名取市では、令和5年度から「なとりまなびパスポート事業※」を行っています。
「なとりまなびパスポート事業」を知っていますか。(1つだけ○)

※なとりまなびパスポート事業：

小学生以上の市民を対象に、生涯学習活動の奨励と学びの成果を表彰するため、1回につき1個のまなびスタンプをパスポートに押印し、規定のポイントを集めると、ポイント数に応じた称号と賞品を授与する事業です。



1. 知っており、現在（令和6年度分）も参加している
2. 知っており、過去に参加していた
3. 知っているが、参加したことはない
4. 言葉は聞いたことがある
5. 知らない（今回の調査で初めて知った）

「生涯学習」に関する今後の意向についておたずねします

問7 あなたは、今後どのような「生涯学習」をしたいと思いますか。(5つまで○)

1. 趣味・教養（音楽、美術、華道、舞踊、書道、文学、歴史、科学、語学など）
2. 地域づくりやまちづくりに関すること（地域支え合い、防災、地域おこしなど）
3. 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）
4. 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、球技、水泳など）
5. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
6. 子どもの育児や教育に関するもの
7. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8. 情報端末（パソコン、スマートフォンなど）の操作や活用に関すること
9. ボランティア活動や市民活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校（高等学校、高等専門学校、各種専門学校、大学、大学院など）の正規課程での学習
12. その他（ ）
13. 生涯学習活動をするつもりはない ⇒問8へ

【問7で1～12と答えた方にお聞きします】

問7-1 問7で選んだものの5つについて、いつごろから学習を開始したいと考えていますか。

(問7で回答した選択肢番号1～12の記入と、それぞれについて1つずつ○)

記入例	問7 選択	学習を始めたい時期			
		1. 今すぐに（半年以内）	2. 半年～1年以内	3. 1年後～3年以内	4. わからない
2⇒		1. 今すぐに（半年以内）	2. 半年～1年以内	3. 1年後～3年以内	4. わからない
⇒		1. 今すぐに（半年以内）	2. 半年～1年以内	3. 1年後～3年以内	4. わからない
⇒		1. 今すぐに（半年以内）	2. 半年～1年以内	3. 1年後～3年以内	4. わからない
⇒		1. 今すぐに（半年以内）	2. 半年～1年以内	3. 1年後～3年以内	4. わからない
⇒		1. 今すぐに（半年以内）	2. 半年～1年以内	3. 1年後～3年以内	4. わからない
⇒		1. 今すぐに（半年以内）	2. 半年～1年以内	3. 1年後～3年以内	4. わからない

【問 7 で 1 ～ 12 と答えた方にお聞きします】

問 7-2 あなたが生涯学習活動をする場合、主にどのような形態で学びたいと思いますか。(いくつでも○)

1. リアルタイムで、対面での講義や活動を通じて学びたい
2. リアルタイムで、オンライン上での映像や音声を通じて学びたい
3. 自分の好きなタイミングで、オンデマンド（映像や音声を好きなタイミングで視聴するスタイル）で学びたい
4. 自分の好きなタイミングで、書籍などで学びたい
5. その他（ ）

【問 7 で 1 ～ 12 と答えた方にお聞きします】

問 7-3 あなたは、どのような施設や方法で「生涯学習」をしたいと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 市内公民館 | 10. 市外施設（大学、文化施設、民間施設等） |
| 2. 市図書館 | 11. 被災者対象のサロン |
| 3. 市民活動支援センター | 12. 職場の教育、研修 |
| 4. 市文化会館 | 13. 同好者のグループ、サークル活動 |
| 5. 市民体育館 | 14. ラジオやテレビを通じて |
| 6. 屋外体育・運動施設 | 15. インターネットを通じて |
| 7. 市内の大学、高校 | 16. 自宅での学習活動（書籍など） |
| 8. 市内の社会福祉法人、医療法人 | 17. その他（ ） |
| 9. 市内の民間施設等 | |

【問 7 で 1 ～ 12 と答えた方にお聞きします】

問 7-4 あなたは、「生涯学習」に関する情報をどこから得たいと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 広報なとり | 5. SNS（公民館 SNS も含む） |
| 2. 公民館だより | 6. スマホアプリ（ナトぼた [※] 等も含む） |
| 3. なとらじ（エフエムなとり） | 7. その他（ ） |
| 4. 名取市ホームページ
（公民館ホームページも含む） | 8. わからない |

※ナトぼた：市行政情報が確認できる令和 6 年 3 月 1 日より運用開始した名取市公式ポータルアプリです。

【すべての方にお聞きます】

問8 あなたは、学習に取り組むにあたって、専門的な指導や助言（アドバイス）を必要とするときがありますか。それはどのような点についてでしょうか。（3つまで○）

1. 自分にあった学習内容について
2. 自分にあった学習方法（仕方）について
3. 自分の関心にそった適切な講座、教室、事業などの紹介について
4. 自分の学習課題や内容に関連する本など参考資料の紹介について
5. インターネットによる情報収集の方法について
6. 適切な学習グループや市民グループの紹介について
7. 自分の学習に協力してくれる指導者の紹介について
8. 学習成果を地域活動に生かす方法や関連する方法の紹介について
9. その他（ ）
10. 指導や助言を必要と思わない

問9 あなたは、学習活動に参加し、また自分で学習することで得た知識や技能を、どのようなところで主に活用していきたいと考えていますか。（3つまで○）

1. 自分の健康の維持・増進
2. 子どもの育児や教育
3. 日常の消費生活
4. 自分の職業・仕事
5. 自分の趣味活動
6. 地域での子育て(子ども会活動を含む)の支援、青少年の健全育成活動、その他の支援活動
7. 地域での高齢者対象の保健、医療、福祉の支援活動、学習活動の支援など
8. 地域スポーツの指導、スポーツ活動の支援
9. 外国との異文化交流、地元の外国人居住者との国際交流活動
10. 文化財の保護、伝統文化の保存、継承など地域文化活動
11. ごみ減量を含む自然環境保全活動
12. 地域の課題を仲間と共有し、課題を解決する活動
13. その他（ ）
14. 特に考えていない

【社会人（主婦・主夫や無職を含む）経験のある方にお聞きします】

問 10 あなたは、学校を出て一度社会人となった後に、大学、大学院、短大、専門学校などの学校において学び直しをしたことがありますか。（1つだけ○）

1. 正規課程で学び直しをしたことがある、または現在学び直しをしている
2. 正規課程で学び直しをしたことはないが、公開講座や社会人を対象とした学習プログラムなどの短期の講座で学び直しをしたことがある、または現在学び直しをしている
3. 学び直しをしたことはないが、今後は学び直しをしてみたい
4. 学び直しをしたことはなく、今後も学び直しをしたいとは思わない ⇒問 11へ

【問10で1～3と答えた方にお聞きします】

問 10－1 名取市では、学び直しの機会として「名取市民大学講座※」を開講しています。どのような内容について受講したり、学んだりしたいと思いますか。
(いくつでも○)

※名取市民大学講座：市内の高等教育機関の専門講師が、身近な話題を取り上げ分かりやすく解説する、1回完結型の講座です。（まなびパスポート対象事業）

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 文学、歴史・地理、哲学や宗教に関すること | 9. デジタル技術や情報通信技術に関すること |
| 2. 心理学に関すること | 10. 子育てや家庭教育に関すること |
| 3. 外国語に関すること | 11. 介護や福祉に関すること |
| 4. 芸術文化に関すること | 12. 健康やスポーツに関すること |
| 5. 法律・政治、経済や国際関係に関すること | 13. 住んでいる地域に関すること |
| 6. 経営やビジネスに関すること | 14. 防災に関すること |
| 7. 数学や自然科学に関すること | 15. その他（ ） |
| 8. 環境に関すること | |

「地域活動」に関するお考えについておたずねします

【すべての方にお聞きします】

問11 あなたは、将来も名取市に住みたいと思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 住みたい | 4. 住みたくない |
| 2. どちらかといえば住みたい | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかといえば住みたくない | |

問12 あなたが、生涯学習活動や地域活動を行う、または行うことのできる時間帯はいつですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 平日の日中 | 3. 土曜日 |
| 2. 平日の夜間 | 4. 日曜日・祝日 |

問13 あなたは、現在、地域にかかわる何らかの活動を行っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 町内会や自治会などの自治組織の活動 | 5. 地域の伝統芸能・文化財の普及・お祭りなどを伝承する活動 |
| 2. 健康づくりや地域の安全などの活動 | 6. スポーツの指導・普及活動 |
| 3. PTAや子ども会活動 | 7. その他() |
| 4. その他のボランティア・社会奉仕などの活動 | 8. 特に活動はしていない |

問14 現在、名取市では全15小・中学校区で地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支える「地域学校協働活動※」を実施しています。あなたは、「地域学校協働活動」をご存じでしたか。

(1つだけ○)

※地域学校協働活動:地域の保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支える様々な活動です。

※地域学校協働活動の例:登下校の見守り、校内の環境整備、読み聞かせ、ミシン学習補助、部活動指導、郷土学習、地域パトロール など。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 知っている(聞いたことがある) | 2. 知らない(聞いたことがない) |
|--------------------|-------------------|

問15 あなたは「地域学校協働活動」に参加したいと思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 参加したことがあり、今後も参加したい | 4. 参加したことがなく、今後も参加したくない |
| 2. 参加したことはないが、今後は参加してみたい | 5. わからない |
| 3. 参加したことはあるが、今後は参加したくない | |

問16 名取市では小学校通学区域ごとに公民館を設置し、市民の学習活動を支援しています。あなたは、生涯学習を盛んにするために、公民館ではどのようなサービスを充実すべきだと思いますか。(2つまで○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 地域の課題・現代的課題の学習機会の拡充 | 4. 地域活動を行う上での支援 |
| 2. 趣味・教養の学習(自己のスキルアップ)機会の拡充 | 5. その他() |
| 3. その人に合った学習方法等の相談機会の充実 | 6. 特にない |

問17 あなたは、人々の生涯学習をもっと盛んにしていくために、名取市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(5つまで○)

- | |
|---|
| 1. 生涯学習に関する専門職員(社会教育主事、司書、学芸員、スポーツ指導者など)の育成 |
| 2. 生涯学習を支援する地域の人材(学習相談や学習機会のコーディネーターなど)の育成 |
| 3. 生涯学習に関する情報を一元化した情報提供 |
| 4. 学校図書館やグラウンドなど学校施設の地域への開放の拡充 |
| 5. 住民のニーズや満足度などを定期的に把握し、施策への反映 |
| 6. 市民活動支援センターを活用し、学習成果を市民活動につなげるための支援 |
| 7. 社会教育団体、青少年団体などのボランティア活動の支援 |
| 8. 生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価の実現 |
| 9. 学校の正規課程での学習において、地域や社会を支援する活動の取り入れ |
| 10. インターネットを使った生涯学習活動の充実 |
| 11. その他() |
| 12. 特にない |
| 13. わからない |

問18 近年のデジタル社会の進展で、生涯学習の学習機会や学習方法も変化しつつあります。あなたは、今後のデジタル社会において、これからの生涯学習で重要だと思うことはどのようなことでしょうか。(2つまで○)

1. 自宅で学習ができる「オンライン講座の整備や充実」
2. スマートフォン等の「デジタルスキル（技術）の習得支援」
3. インターネット接続環境などの「環境設備の整備」
4. 市民一人ひとりの学習ニーズやレベルに合わせた「AI※による個別学習プランの提供」
5. デジタル技術の知識やモラル、情報セキュリティなどの「情報リテラシー教育の普及」
6. その他（ ）
7. 特になし

※AI：人工知能（Artificial Intelligence（アーティフィシャル インテリジェンス））の略称です。

問19 生涯学習について、思っていることや感じていることがありましたら、自由にご記入ください。

[illegible]

お忙しい中、ご協力をいただきありがとうございました。

3 名取市生涯学習推進本部設置要綱

平成 7 年 5 月 24 日
名取市教育委員会告示第 11 号

改正 平成 14 年 11 月 11 日教委告示第 19 号 平成 18 年 3 月 28 日教委告示第 8 号
平成 19 年 3 月 28 日教委告示第 7 号 平成 20 年 3 月 31 日教委告示第 5 号
平成 23 年 11 月 1 日教委告示第 14 号 平成 30 年 5 月 30 日教委告示第 17 号
令和 2 年 3 月 31 日教委告示第 5 号 令和 2 年 3 月 31 日教委告示第 6 号

(目的及び設置)

第 1 条 市民一人ひとりが、生きがいのある充実した生活をめざして、生涯にわたる多様な学習を主体的に行えるよう、市全体で効果的に援助、推進するため、名取市生涯学習推進本部(以下「推進本部」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 推進本部は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 生涯学習振興計画の策定に関すること。
- (2) 生涯学習施策の総合調整に関すること。
- (3) その他生涯学習の推進に必要な事項に関すること。

(組織等)

第 3 条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部委員をもって組織する。

- 2 本部長は市長を、副本部長は両副市長及び教育長を、本部委員は別表に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 本部長は、本部を総括し、代表する。
- 4 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、あらかじめ本部長の指名する副本部長がその職務を代理する。

(推進本部会議)

第 4 条 推進本部の会議は、本部長が招集し、その議長となる。

(名取市生涯学習推進協議会)

第 5 条 推進本部に名取市生涯学習推進協議会(以下「推進協議会」という。)を置く。

- 2 推進協議会は、次に掲げる事項について協議し、本部長に意見を述べ、又は提言する。
 - (1) 生涯学習振興の施策に係る具体的な方向付けに関すること。
 - (2) 生涯学習に関連する機関・団体等との連携・調整に関すること。
 - (3) その他生涯学習の推進に関すること。

(推進協議会の組織)

第 6 条 推進協議会の委員は、10 人以内で組織する。

- 2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから本部長が委嘱又は任命する。

(1) 学校教育及び社会教育の関係者

(2) 学識経験のある者

3 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(推進協議会の委員長及び副委員長)

第 7 条 推進協議会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、推進協議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(推進協議会の会議)

第 8 条 推進協議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 推進協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、推進協議会の会議に委員以外の者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第 9 条 推進本部の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(委任)

第 10 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、告示の日から施行し、平成 7 年 4 月 1 日から適用する。

別表(第 3 条関係)

	職 名
本部委員	総務部長 企画部長 健康福祉部長 生活経済部長 建設部長 教育部長 消防長

4 主な生涯学習事業

生涯学習課 HP



生涯学習課では、まなびのきっかけづくりに繋がる様々な講座・事業を実施しています。健康づくりや、いきがいにづくりにぜひご活用ください。

(1) なとりまなびパスポート事業 “まなパス”

開催時期:毎年5月～翌年2月末

開催内容:小学生以上の市民を対象に、参加対象施設の講座・イベントの受講・参加1回につき1個のまなびスタンプをパスポートに押印します。規定のポイントを集めると、ポイント数に応じた称号と賞品を授与します。



(2) なとりまなびフェスティバル “まなフェス”

開催時期:毎年3月頃

開催内容:日頃の学習成果の発表とまなびの祭典。著名な講師による講演会も♪



(3) まなびチャレンジグループ自主企画講座 “まなチャレ”

開催時期:業務委託契約後～2月末

開催内容:市民の皆さんが企画、実施する学びの活動を支援します。1グループ5万円を上限として4グループを公募(6月～8月頃)します。



(4) マナビ講師派遣事業(出前講座、マナビ宅配便)

開催時期:通年

開催内容:市役所職員が普段の仕事をわかりやすく説明を行う『出前講座(無料)』と、市民の皆さんが講師となり、様々なジャンル・テーマのメニューを指導する『マナビ宅配便(有料)』があります。



(5) 名取市民大学講座

開催時期:毎年8月～9月頃

開催内容:市民の皆様の多様で高度な学習ニーズに対応し、地域で抱えている課題などのテーマを、尚絅学院大学の先生がわかりやすく教えてくれます。



(6) 海の子山の子交歓会事業

開催時期:名取会場10月頃、上山会場2月頃

開催内容:姉妹都市である上山市の児童生徒と、名取市児童生徒による交流で、SUP 体験やスキー体験等、自然体験活動を中心に交流を深めます。



(7) 名取市二十歳を祝う会

開催時期:毎年1月成人の日の前日に開催

開催内容:二十歳の節目である皆さんをお祝いするとともに、未来に向けて新しい市の原動力としての期待を込めて式典を開催しています。



5 市内生涯学習施設の紹介

二次元コードの読み取りで各施設のホームページに簡単にアクセスできます。

《名取市図書館》



《各地区公民館》



《名取市歴史民俗資料館》



《名取市文化会館》



《名取市民体育館》



《名取市市民活動支援センター》



《名取市震災復興伝承館》



《名取市サイクルスポーツセンター》



生涯学習のマスコット“マナビィ”
デザイン：石ノ森章太郎



名取市生涯学習振興計画 後期計画

令和 7 年 4 月

発 行 名取市生涯学習推進本部
事 務 局 名取市教育委員会 生涯学習課
〒981-1224

名取市増田字柳田 570-2 仙台法務局名取出張所2階
電話 022-724-7173

